

**平成23年度後期授業改善アンケート  
調査結果報告書**

平成24年3月

名城大学 FD委員会

# 目次

---

授業改善アンケートについて	1
サマリー	2
〔調査実施資料〕	
調査概要と対象者属性	3
学生用アンケート用紙	4
教員用アンケート用紙	6
〔授業科目の改善ポイント〕	
1 授業科目の集計と項目別改善ポイント	10
2 改善ポイントの見方の例	11
3 授業満足度の変化	12
4 調査結果のまとめ	14
5 学部別改善ポイント	16
〔学部別分析結果〕	
6 授業満足度から見た授業改善項目	18
7 学生と教員の授業満足度の関係	30
8 学力程度別の授業満足度	31
9 教員と学生の対象レベルの一致	32
10 出席率	33
11 出席学生数と出席学生数別満足度	34
12 自学自習時間と授業満足度の関係	35
13 試験実施方法とその満足度	38
14 授業に関する良い点(学生の自由回答)	39
15 授業に関する改善点(学生の自由回答)	41
〔設問別集計結果〕	
16 教員の自己評価の時系列比較	43
17 学生評価の時系列比較	44
18 基礎データ教員用設問	45
19 基礎データ学生用設問	62

# 授業改善アンケートについて

---

平成 23 年度授業改善アンケートについて

平素は本学の FD 活動にご協力いただきありがとうございます。

本学の授業アンケートは、平成 12 年度から始まり、内容を検討しつつ、現在の形となりました。教員への早めのフィードバックのため、ここ近年は授業の中間回に実施していましたが、本年度は最終授業まで受けた後の学生の声を収集するため、授業の最終回に実施しております。

本学のアンケートの特徴として、学生と教員共に同様の項目でアンケートを行い、その違い（ギャップ）を調査していることにあります。また、学生の学力程度別で満足度の違いを集計することのほか、各項目と満足度の相関や不満の大きさを基に、独自の指標である「改善要求度」を算出し、改善が求められている項目を明らかにしています。

本冊子には平成 23 年度のアンケートから得られた各データの分析結果を学部学科等別、質問項目別に分けて載せておりますので、授業改善に役立てていただければ幸いです。

来年度においても、より良いアンケートとなるよう、チームで検討を進める予定です。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

FD 委員会 学生満足度チーム 座長 稲垣公治

# サマリー

## 平成 23 年度アンケート調査の概要

### ○学生の授業満足度の変化 (Page.12-13)

全学の学生の授業満足度は 58.2% となり、昨年度に比べ、8.2 ポイント増加した。

### ○改善要求の高い項目 (Page.18-19)

高いポイントが示された「改善要求度」の項目については、以下のとおりです。ポイントが高いほど、その項目については改善が求められています。

#### 1. 「理解配慮」 42.4 ポイント

質問項目：この授業では学生の理解度を確認しながら進められている

#### 2. 「興味工夫」 41.3 ポイント

質問項目：この授業は学生に興味をわくように工夫して進められている

#### 3. 「興味喚起」 36.9 ポイント

質問項目：この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされた

### ○学生からの自由回答の主な意見 (Page.39-42)

良い点	改善が必要な点
1. 教員の説明が分かりやすい 4,691 件	1. 板書・パワーポイントの文字が読みにくい 3,421 件
2. 授業が面白い 3,461 件	2. 教員の説明が分かりにくい 1,790 件
3. 板書・パワーポイントの文字が読みやすい 2,728 件	3. 資料が分かりにくい 1,087 件

# 調査概要と対象者属性

## 目的

教員・学生相互の視点から授業改善の手がかりを探り、授業改善につなげることで教育の質を向上させることを目的とします。

## 調査方法

教員調査、学生調査ともマークシートによる自記式アンケート

## 実施期間

2011.12.20 ～ 2012.1.16

## 調査主体

FD委員会 学生満足度チーム

## 対象授業

本アンケートは平成23年度後期に学部の授業を担当する常勤教員と非常勤講師を対象とし、担当授業のうち最も履修者が多い講義科目において実施しました。ただし以下のいずれかの項目に該当する授業は対象から除きました。

- ・ 体育科目
- ・ リレー方式で開講されている科目
- ・ 実験・実習・演習など講義以外の科目
- ・ 履修登録者数が10名未満の科目

## 回答者属性

○学生 37,631人

○教員 598人 (694設定授業中 643授業で実施 実施率92.7%) (※)

(※) アンケートを記入していない教員が存在するため、実施授業数と教員回答者数は合致していません。

冊子刊行納期の関係上、アンケートの一部は集計に含まれておりません。

## 開講学部別回答者数

	実施授業数	学生		教員	
		常勤授業受講	非常勤授業受講	常勤	非常勤
法学部	88	2,200	1,720	25	52
経営学部	41	2,126	589	26	10
経済学部	23	1,697	397	15	6
理工学部	257	8,084	5,733	125	121
農学部	42	3,129	733	31	10
薬学部	36	3,050	283	27	5
都市情報学部	37	1,754	682	23	13
人間学部	27	2,020	252	22	3
教職課程・学芸員課程	15	251	408	5	10
全学共通教育部門	77	305	2,218	13	56
計	643	24,616	13,015	312	286

# 学生用アンケート用紙

平成 23 年度後期授業改善アンケート(学生用)

②

名城大学 FD 委員会  
学生満足度チーム

このアンケート調査は、学生の皆さんの視点から授業改善の手がかりを探り、授業の改善につなげることを目的として実施するものです。なお、ご回答いただきました内容は授業改善のみに使用し、成績評価等には一切影響しませんので率直に回答してください。

- はじめに：マークカードに科目名、実施日、氏名及び学籍番号を記入してください。
- 回答方法：もっとも当てはまる記号を一つ選び、鉛筆でマークしてください。質問 20・質問 21 は別紙の自由記述用紙に記入してください。

1. この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にある。  
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
2. この授業における自分の学力はどの程度だと思いますか。  
a.上 b.どちらかといえば上 c.中 d.どちらかといえば下 e.下
3. この授業に対する 1 週間あたりの勉強時間(授業時間除く)は。  
a.週 3 時間以上 b.週 1 時間-3 時間未満 c.週 30 分-1 時間未満 d.週 30 分未満 e.していない
4. 自分はこの授業が理解できている。  
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
5. この授業では自分にとって、新しいことを学んでいる。  
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
6. この授業によって実力が身に付き、将来役立つと思う。  
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
7. この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされた。  
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
8. この授業によって、自分で調べ、考える姿勢が得られた。  
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
9. この授業は私語が少ない。  
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない

裏面へ進んでください

# 学生用アンケート用紙

---

10. この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。

- a. 強く思う b. やや思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない

11. この授業は学生に興味がわくように工夫して進められている。

- a. 強く思う b. やや思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない

12. この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されている。

- a. 強く思う b. やや思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない

13. この授業では成績評価基準が明確に示されている。

- a. 強く思う b. やや思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない

14. この授業では板書や資料等の文字は読み取りやすい。

- a. 強く思う b. やや思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない

15. この授業では教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。

- a. 強く思う b. やや思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない

16. この授業では学生の理解度を確認しながら進められている。

- a. 強く思う b. やや思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない

17. この授業は満足のいくものである。

- a. 強く思う b. やや思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない

18. この授業における、試験の方法には満足している。

- a. 強く思う b. やや思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない

19. この授業の試験においては、テキスト等の持ち込みが許可されている。

- a. 許可されている b. 許可されていない c. その他の試験方法（レポート提出のみによる評価等）

20. この授業で良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

（別紙に記入してください）

21. この授業で改善したほうが良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

（別紙に記入してください）

# 教員用アンケート用紙

③

## 平成 23 年度後期授業改善アンケート(教員用)

名城大学 FD 委員会  
学生満足度チーム

FD委員会では教員・学生相互の視点から授業改善の手がかりを探り、授業の改善につなげることを目的として実施するものです。

回答内容につきましてはFD活動以外の目的では使用致しませんので、是非ご協力いただきますようお願いいたします。

- はじめに：マークカードにご担当の科目名・実施日・ご氏名を記入してください。
- 回答方法：もっとも当てはまる記号を一つ選び鉛筆でマークしてください。質問 18・質問 19 は別紙の自由記述用紙に記入してください。

1. この授業を履修する学生の多くは基礎的な知識が十分にある。  
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
  
2. この授業はどのレベルの学生に合わせていますか。  
a.上位層 b.どちらかといえば上位層 c.中位層 d.どちらかといえば下位層 e.下位層
  
3. 学生はこの授業が理解できている。  
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
  
4. この授業では学生は新しいことを学んでいる。  
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
  
5. この授業は学生の将来に役立つ。  
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
  
6. この授業では学生の学問への興味・関心を引くようしている。  
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
  
7. この授業では学生自身が自分で調べ、考えるようになっている。  
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
  
8. この授業では私語に対し、きちんと対応している。  
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
  
9. この授業に対し、自分は熱意をもって取り組んでいる。  
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない

裏面へ進んでください



# 教員用アンケート用紙

---

10. この授業は学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。  
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
11. この授業では大切なポイントをきちんと示している。  
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
12. この授業では学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価をしている。  
a.とてもあてはまる b.ややあてはまる c.どちらともいえない d.あまりあてはまらない  
e.全くあてはまらない
13. この授業では板書や資料等の文字は読みやすくしている。  
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
14. この授業では自分の話し方は明瞭で聞き取りやすい。  
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
15. この授業では学生の理解度を確認しながら進めている。  
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
16. 自分はこの授業に満足している。  
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
17. この授業の試験においては、テキスト等の持ち込みを許可している。  
a.許可している b.許可していない c.その他の試験方法（レポート提出のみによる評価等）
18. 授業改善アンケートについてご意見がございましたら、何でも結構ですからお聞かせください。  
（別紙に記入してください）
19. 組織的なFDのあり方についてご意見がございましたら、何でも結構ですからお聞かせください。  
（別紙に記入してください）

# 学生用アンケート用紙 別紙（自由記述用紙）

---

別紙（自由記述用紙）

④

20. この授業で良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。


21. この授業で改善したほうが良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。


# 教員用アンケート用紙 別紙（自由記述用紙）

⑤

別紙（自由記述用紙）

18. 授業改善アンケートについてご意見がございましたら、何でも結構ですからお聞かせください。


19. 組織的なFDのあり方についてご意見がございましたら、何でも結構ですからお聞かせください。

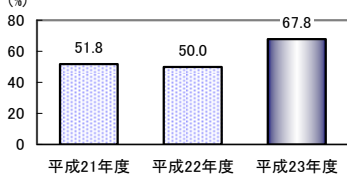

# 1 授業科目の集計と項目別改善ポイント

<各教員へのフィードバック様式見本>

【名城大学FD】平成23年度後期授業改善アンケート  
集計と項目別改善ポイント

〇〇学部 履修登録者数: 100人	科目名: 〇△ 回答者数: 80人	時間割: 月曜日 4時限 教員名: 〇〇 △△
----------------------	----------------------	----------------------------

【授業満足度】



【この科目の自学自習時間(%)】

	週3時間以上	週1時間~3時間	週30分~1時間	週30分未満	勉強していない	無回答
平成21年度	7.0	7.0	10.0	15.9	60.1	0.0
平成22年度	4.9	3.4	26.3	16.3	48.0	1.1
平成23年度	3.9	4.9	10.8	13.7	61.8	4.9

【各質問の評価】

(学生スコアは加重平均得点、教員は素点のまま)

質問項目	学生	教員	全体影響度	不満度
基礎知識	2.7	3	-	-
学力程度	2.7	3	-	-
理解度	3.2	3	-	-
発見学習	3.8	4	0.27	0.35
将来役立	3.6	4	0.36	0.40
興味喚起	3.4	2	0.41	0.45
自学姿勢喚起	2.9	2	0.30	0.57
私語レベル	2.7	3	0.18	0.62
意欲熱意	3.9	5	0.39	0.30
興味工夫	3.3	5	0.48	0.47
ポイント	3.7	4	0.43	0.36
評価基準(※)	3.3	5	0.31	0.46
板書	3.8	3	0.35	0.35
話方明瞭	3.8	4	0.41	0.31
理解配慮	3.2	2	0.46	0.49
授業満足	3.6	4	-	-
試験方法満足	3.8	-	-	-

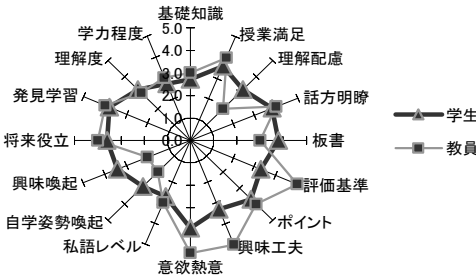
(※) 評価基準の教員設問は「この授業では学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価をしている」

全体影響度 = 「授業満足」との関係の強さを数値化したもの。

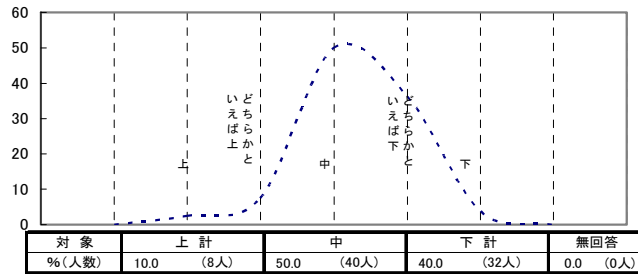
影響度が大きい場合、その質問項目の評価が高い(低い)ほど「授業満足」の評価が高く(低)くなる。

不満度 = 質問項目に対する不満の程度を数値化したもの。1(最も不満が大きい)から0(全く不満がない)までの値を取る。値が大きいほど不満が大きい。

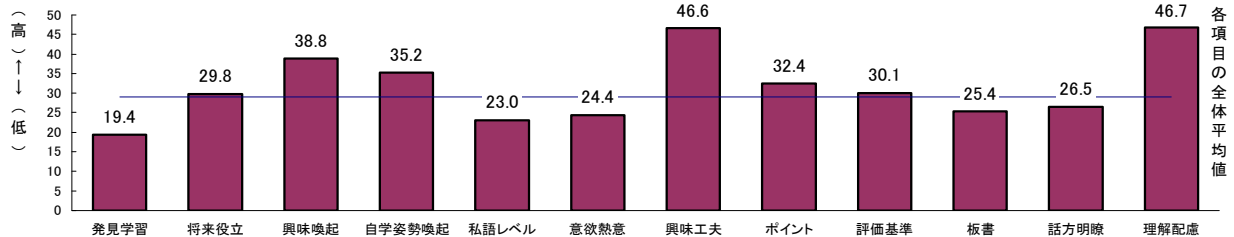
【教員スコアと学生スコアの比較】



【学力程度分布 (自己申告)】



【改善要求度】 質問項目に対する改善要求の大きさを数値化したもの。100(最も改善要求が高い)から0(全く改善の必要がない、非常に優れている)までの値を取る。値が大きいほど学生からの改善の声が多い。



学力程度	上	中	下
	(8人)	(40人)	(32人)
基礎知識	12.1	10.4	17.0
学力程度	13.7	17.3	24.0
理解度	24.0	34.5	19.9
発見学習	19.9	19.1	20.7
将来役立	20.7	26.7	41.4
興味喚起	21.2	31.5	39.5
自学姿勢喚起	36.4	23.7	25.3
私語レベル	23.7	25.3	47.9
意欲熱意	25.3	31.3	32.3
興味工夫	47.9	26.3	30.1
ポイント	31.3	26.3	30.1
評価基準	32.3	26.3	30.1
板書	26.3	26.3	30.1
話方明瞭	30.1	30.1	50.0
理解配慮	48.2	30.2	50.0

全体より5ポイント以上高いものに網掛け、5ポイント以上低いものに斜体+下線

『上』学力を「上」もしくは「どちらかといえば上」と回答した学生、『中』学力を「中」と回答した学生、『下』学力を「どちらかといえば下」もしくは「下」と回答した学生。

- 「将来役立」「興味喚起」「自学姿勢喚起」「興味工夫」「ポイント」「評価基準」「理解配慮」の項目においては改善要求度が高い値を示しています。
- 「興味喚起」「自学姿勢喚起」「ポイント」の項目においては学生の学力程度ごとに改善要求度に差がみられます。学力レベルに応じた授業の進め方への配慮が求められています。

## 2 改善ポイントの見方の例

### 「平成 23 年度 後期科目 集計と項目別改善ポイント」見方の例

- **授業満足度**：学生アンケート設問項目「この授業は満足のいくものである」において、「強くそう思う」に5点～「全くそう思わない」に1点を与えて計算した、加重平均得点です。
- **この科目の自学自習時間**：学生アンケート「この科目の自学自習時間」の集計結果です。授業時間を除いた学習時間です。
- **基礎知識～試験方法満足（17項目）**：学生用アンケート、教員用アンケートそれぞれに対応する設問の回答（学生欄は加重平均得点、教員欄は素点のまま）を示しています。下限が1点、上限が5点で表示されます。
- **全体影響度**：学生の満足感への影響の強さを数値で表したものです。値は大きいほど影響が強く、最大で1.0、最小で0.0の値をとりますが、1.0に近い値をとることはほとんどなく、経験的には0.4程度の値でかなりの影響があると言えます。この「影響度」は、全学の結果を用いて算出しているため全体影響度と記載しています。
- **不満度**：各評価項目に対する学生の不満感の大きさを数値で表したものです。値が大きいほど不満感が強く、最大で1、最小で0の値をとります。
- **レーダーチャート**：学生と教員の感じ方のギャップを見ることができます。評価の偏りが少なければ円に近い形で表現されますので、どの部分で評価が偏っているのか理解できます。また学生と教員のグラフが重なれば、教員が学生の状況をよく把握して授業を展開しているといえます。
- **学力程度分布**：学生アンケート「この授業における自分の学力はどの程度だと思いますか」の回答状況を図としたものです。どこの学力レベルに焦点をあてたら授業が進めやすいのかがわかります。
- **改善要求度**：「授業満足度」を高めるためには、①「影響度」の大きな評価項目の、②不満度を減らす、ことができればよいことがわかります。そこで、「改善要求度」を以下のように定義しました。

$$\text{「改善要求度」} = \frac{\text{「影響度」} \times \text{「不満度」}}{\text{「影響度」の最大値}} \times 100$$

- **改善ポイント**：全科目における改善要求度の平均値と比較し、高い項目について改善が望まれています。

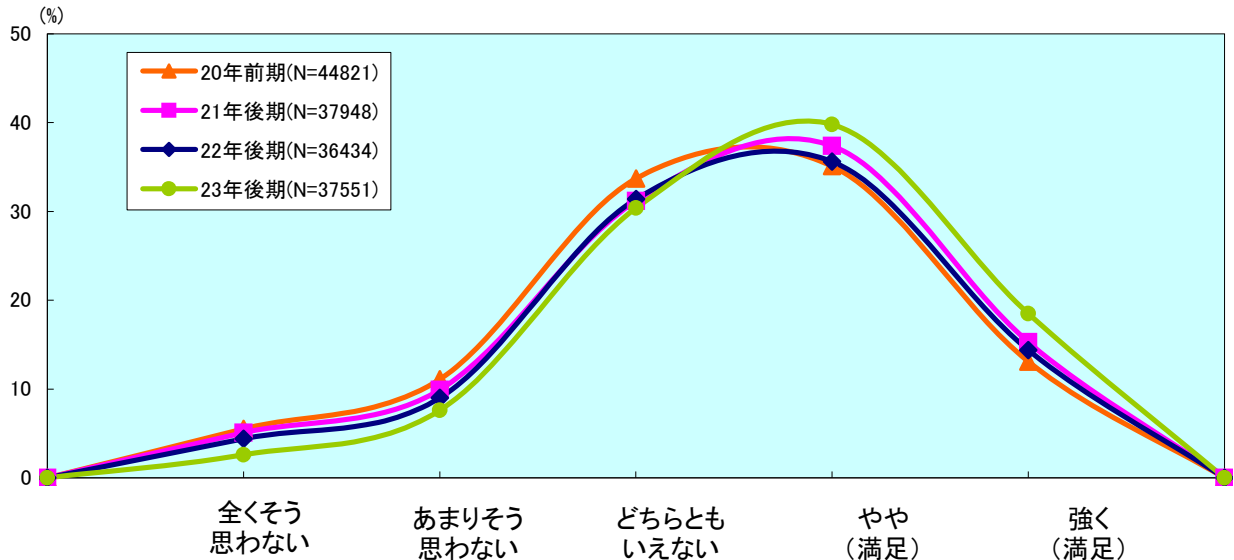
### 3 授業満足度の変化（1）

[学生]

学生の授業満足度を時系列で見ると、全体では「強く満足」+「やや満足」の割合が前年より8ポイント上昇した。学部・学科別でも全般的に上昇傾向で、特に経営学部では経営学科、国際経営学科とも20ポイント近く上昇した。

Q17. この授業は満足のものである。

<授業満足度> 【全学部】



<学科別授業満足度の時系列比較>

学部別	23年後期	22年後期	21年後期	20年前期	学科別	23年後期	22年後期	21年後期	20年前期
全体(N=37551)	58.2	50.0	52.6	48.2	全体(N=37551)	58.2	50.0	52.6	48.2
法学部(n=3920)	61.3	52.7	57.2	54.7	法学科(n=3654)	60.5	51.7	56.3	54.6
					応用実務法学科(n=266)	71.8	70.5	72.7	56.5
経営学部(n=2635)	62.5	44.0	48.6	44.3	経営学科(n=2053)	61.2	43.4	47.3	43.5
					国際経営学科(n=582)	67.4	48.2	51.4	49.2
経済学部(n=2094)	57.3	50.7	49.0	43.3	経済学科(n=1443)	58.1	49.9	45.8	42.0
					産業社会学科(n=651)	55.5	<u>53.4</u>	63.2	47.4
理工学部(n=13817)	53.0	46.2	48.3	44.5	数学科(n=1712)	51.8	43.5	47.8	43.9
					情報工学科(n=913)	52.6	44.4	45.9	42.5
					電気電子工学科(n=1183)	56.8	48.3	51.3	51.0
					材料機能工学科(n=947)	47.0	41.6	40.2	41.0
					機械システム工学科(n=1254)	54.7	<u>50.2</u>	55.7	43.1
					交通機械工学科(n=902)	57.1	48.7	45.8	41.4
					建設システム工学科(n=948)	55.2	44.1	46.4	45.0
					環境創造学科(n=884)	54.2	48.0	50.8	49.4
					建築学科(n=1245)	62.8	62.3	62.5	57.2
					工学系(n=3829)	48.4	41.6	40.0	38.1
農学部(n=3862)	57.9	52.0	55.6	53.0	生物資源学科(n=1156)	63.0	<u>52.1</u>	63.9	49.5
					応用生物化学科(n=1353)	54.7	55.7	53.2	53.6
					生物環境科学科(n=1353)	56.8	46.9	<u>49.8</u>	56.5
薬学部(n=3333)	57.5	51.6	55.9	51.2	薬学科(n=3333)	57.5	51.6	55.9	51.2
都市情報学部(n=2436)	61.9	49.6	51.9	44.5	都市情報学科(n=2436)	61.9	49.6	51.9	44.5
人間学部(n=2272)	65.3	57.0	56.2	58.9	人間学科(n=2272)	65.3	57.0	56.2	58.9
教職課程・学芸員課程(n=659)	64.6	60.8	62.4	55.7					
全学共通教育部門(n=2523)	68.3	61.2	62.7	49.8					

※前年より5ポイント以上上昇したものは網掛け、5ポイント以上低下したものは斜体+下線

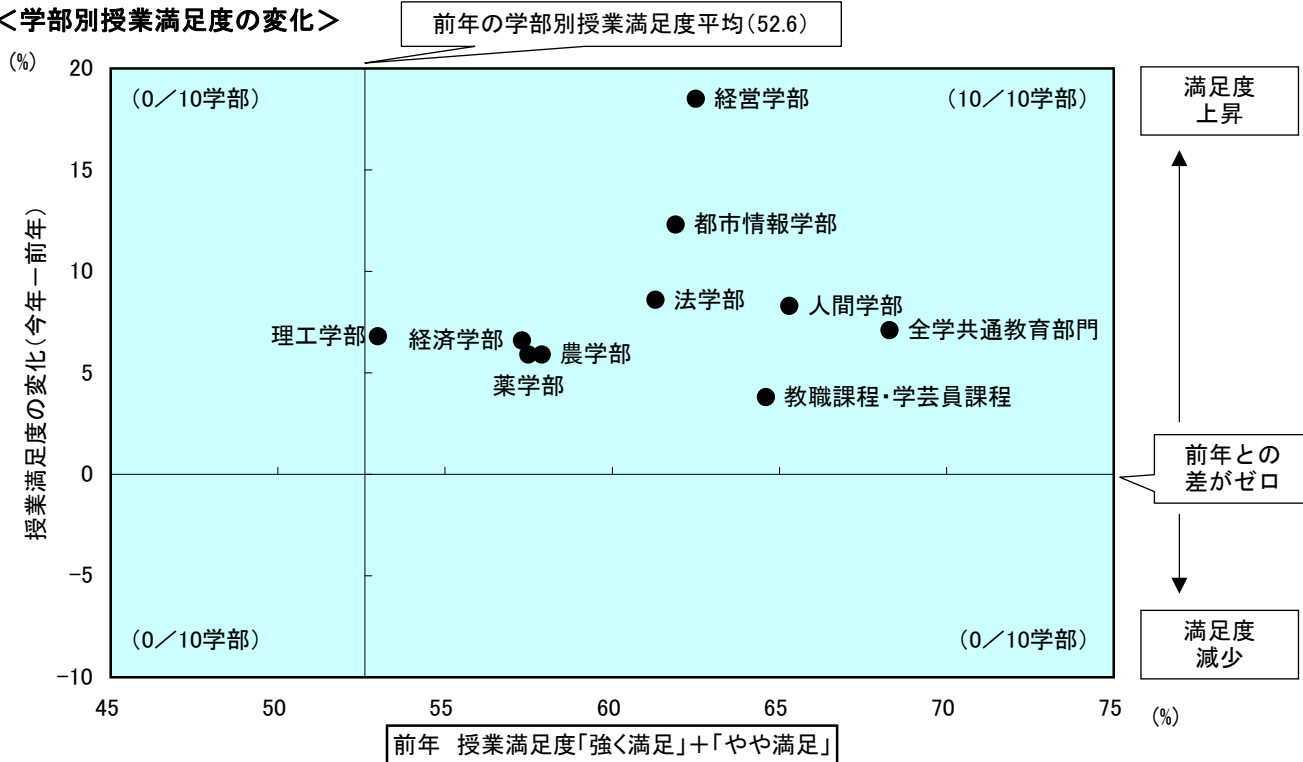
※「強く満足」+「やや満足」のスコア(%)

### 3 授業満足度の変化（2）

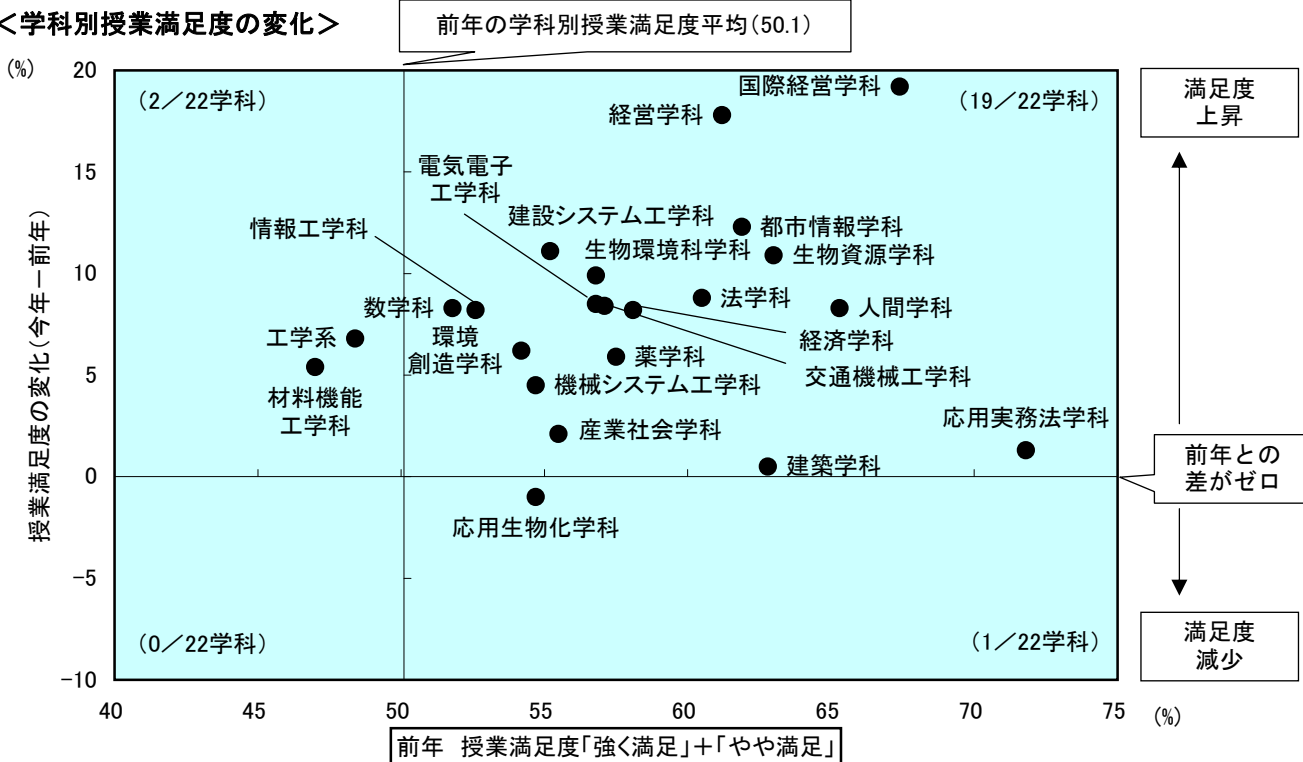
[学生]

学部別、学科別に授業満足度の変化の度合いを前年と比較したところ、多くの学部・学科で、満足度が上昇したことがわかった。

<学部別授業満足度の変化>



<学科別授業満足度の変化>



## 4 調査結果のまとめ 教員編

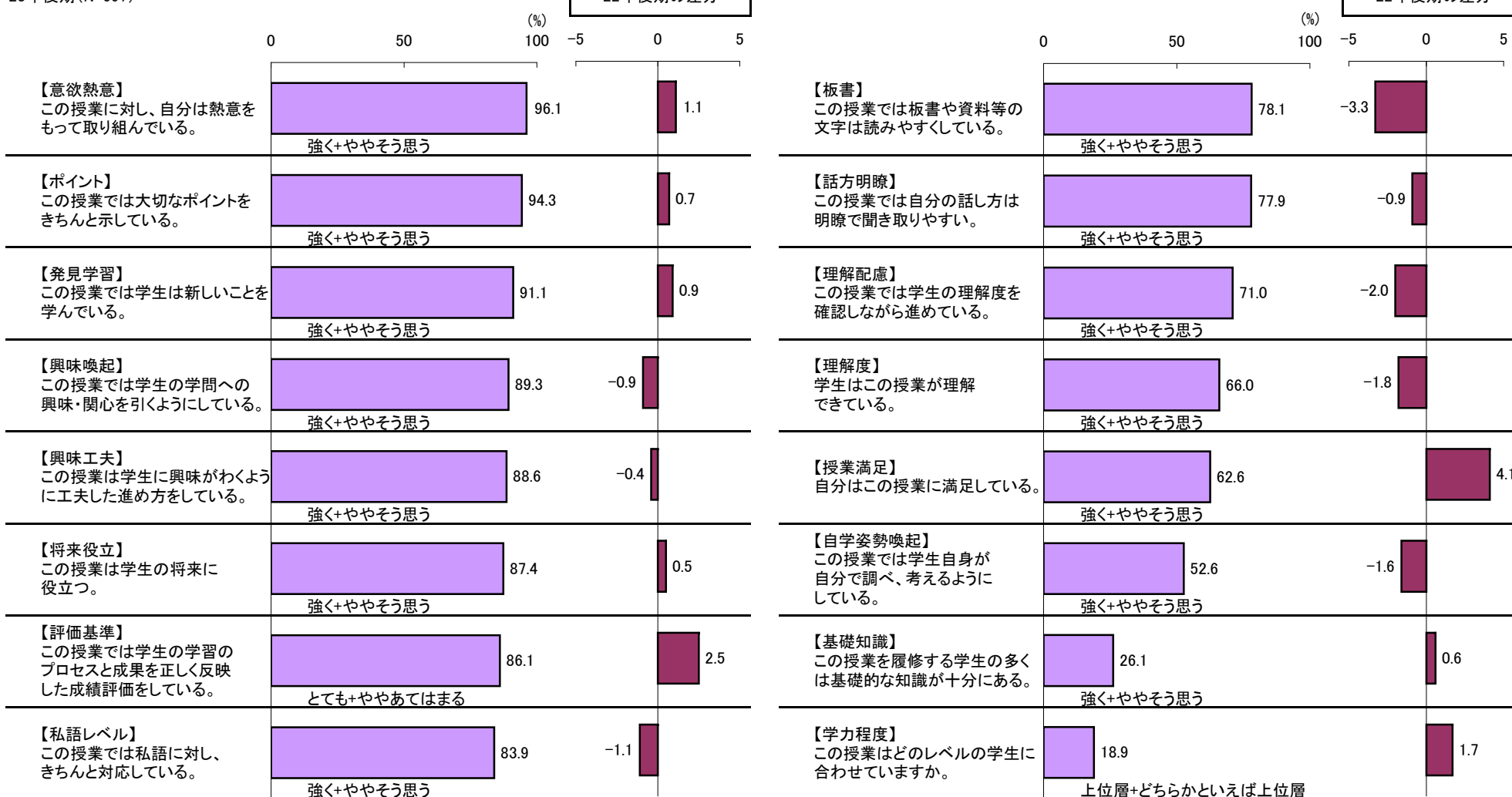
教員の自己評価は「意欲熱意」「ポイント」「発見学習」で特に高い。一方、学生の「基礎知識」が十分であるとする教員の割合は2割台にとどまる。前年と比較すると、「自分はこの授業に満足している」と回答した教員の割合は4ポイント上昇し、6割を超える。

22年後期(N=581)  
23年後期(N=597)

23年後期と  
22年後期の差分

※横棒グラフおよび数表は各設問上位2選択肢の合計割合(%)

23年後期と  
22年後期の差分





## 4 調査結果のまとめ 学生編

授業に対する学生の評価は、「発見学習」「意欲熱意」で特に高い。一方、「自学自習時間」が「週3時間以上」+「週1-3時間未満」の割合は1割強、「学力程度」が上またはどちらかといえば上とする割合も1割台にとどまる。授業満足度は6割弱であった。前年と比較すると、「評価基準」「自学姿勢喚起」が9ポイント上昇した。

22年後期(N=36434)  
23年後期(N=37551)

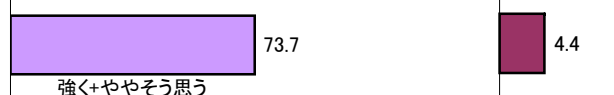
(%)

23年後期と  
22年後期の差分

0 50 100 -10 0 10

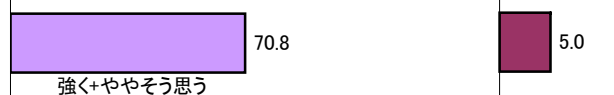
### 【発見学習】

この授業では自分にとって、  
新しいことを学んでいる。



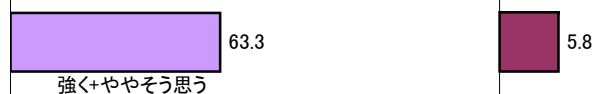
### 【意欲熱意】

この授業に対する教員の意欲や熱意を  
感じる。



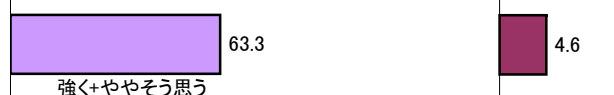
### 【ポイント】

この授業では授業の大切なポイントが  
きちんと示されている。



### 【話方明瞭】

この授業では教員の話方は明瞭で  
聞き取りやすい。



### 【将来役立】

この授業によって実力が身に付き、  
将来役立つと思う。



### 【評価基準】

この授業では成績評価基準が明確に  
示されている。



### 【板書】

この授業では板書や資料等の文字は  
読み取りやすい。



### 【授業満足】

この授業は満足のいくものである。



### 【私語レベル】

この授業は私語が少ない。



※横棒グラフおよび数表は各設問上位2選択肢の合計割合(%)

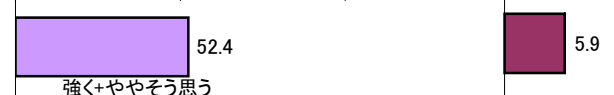
23年後期と  
22年後期の差分

(%)

0 50 100 -10 0 10

### 【興味工夫】

この授業は学生に興味をわくように  
工夫して進められている。



### 【興味喚起】

この授業によって、学問への  
興味・関心が引き起こされた。



### 【理解配慮】

この授業では学生の理解度を  
確認しながら進められている。



### 【理解度】

自分はこの授業が理解できている。



### 【自学姿勢喚起】

この授業によって、自分で調べ、  
考える姿勢が得られた。



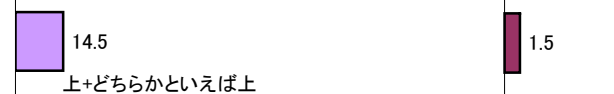
### 【基礎知識】

この授業を履修するにあたり、自分には  
基礎的な知識が十分にある。



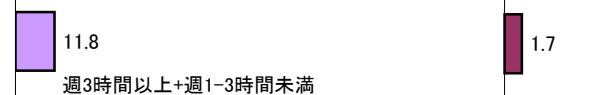
### 【学力程度】

この授業における自分の学力は  
どの程度だと思いますか。



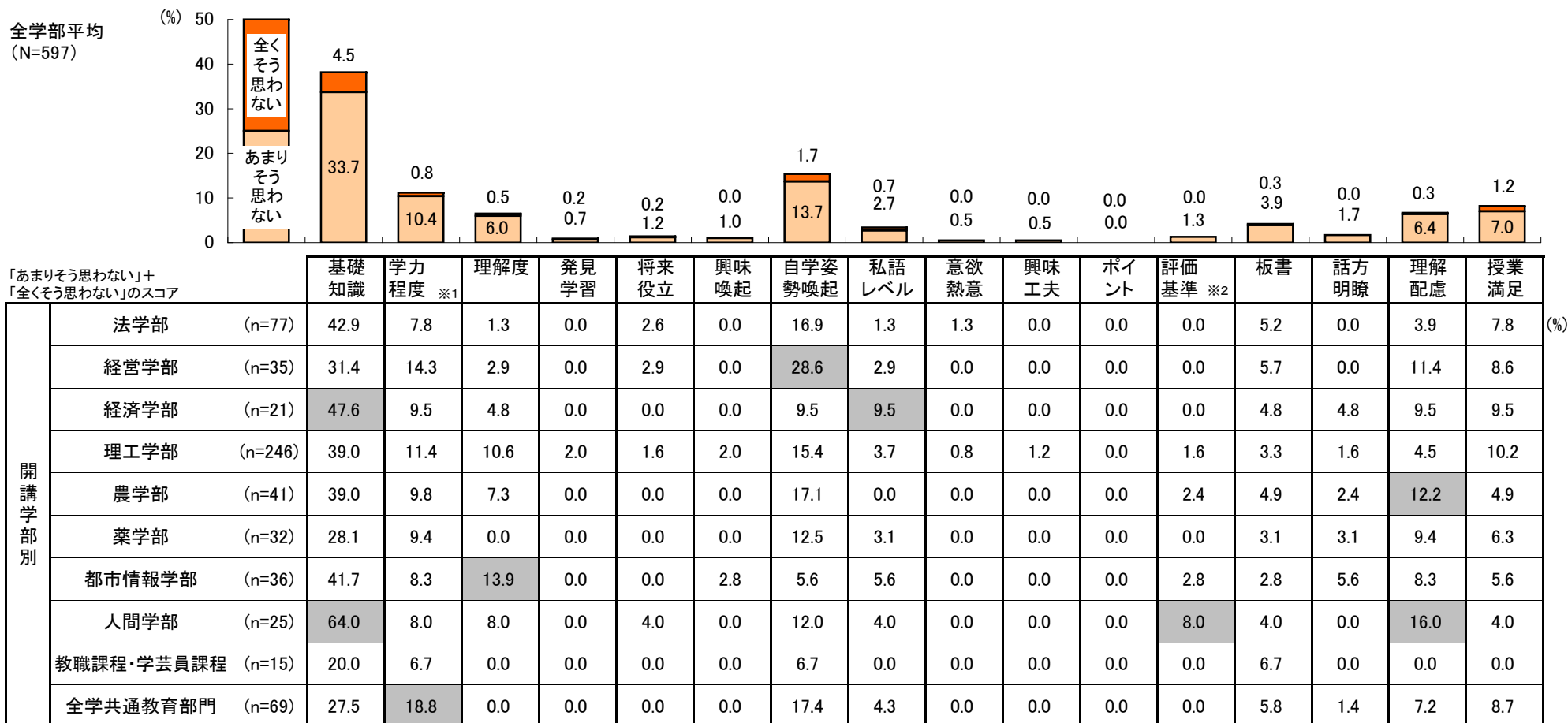
### 【自学自習時間】

この授業に対する1週間あたりの  
勉強時間(授業時間除く)は。



## 5 学部別改善ポイント 教員編

教員の自己評価の結果のうち各質問の「あまりそう思わない」「全くそう思わない」のスコアを表すことで改善すべきポイントを明確にした。全学部平均では、学生の「基礎知識」が十分ではないと感じている教員の割合が最も高く、特に経済学部、人間学部で高い。



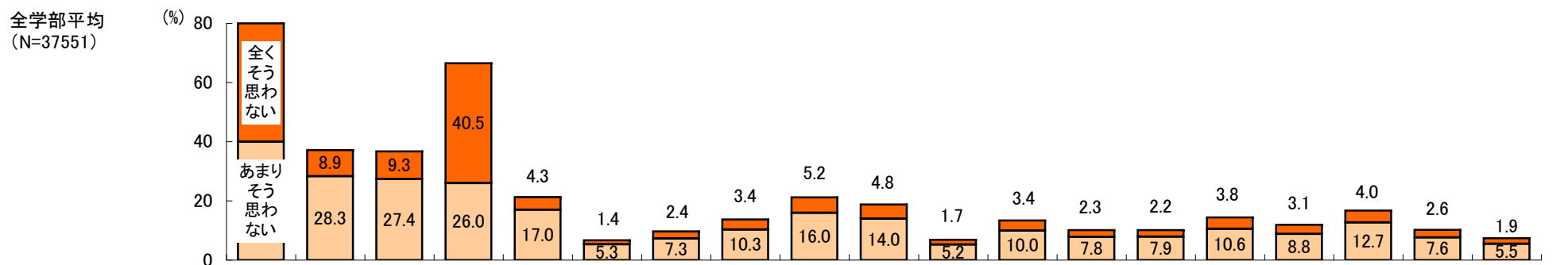
網掛けは、より改善が必要な項目(全体より5ポイント以上)

※1 「学力程度」のスコアは「どちらかといえば下位層」+「下位層」

※2 「評価基準」のスコアは「あまりあてはまらない」+「全くあてはまらない」

## 5 学部別改善ポイント 学生編

学生調査の結果のうち「あまりそう思わない」「全くそう思わない」のスコアを表すことで改善すべきポイントを明確にした。  
「自学自習時間」「基礎知識」「学力程度」が上位にあげられ、特に自学自習をしていない学生が7割弱にのぼる結果となった。



「あまりそう思わない」+ 「全くそう思わない」のスコア		基礎知識	学力程度※1	自学自習時間※2	理解度	発見学習	将来役立	興味喚起	自学姿勢喚起	私語レベル	意欲熱意	興味工夫	ポイント	評価基準	板書	話方明瞭	理解配慮	授業満足	試験方法満足
開講学部別	法学部 (n=3920)	40.7	39.3	66.6	20.3	7.6	9.0	13.4	22.3	19.3	6.4	11.4	8.9	11.1	15.5	12.9	15.5	9.4	6.5
	経営学部 (n=2635)	40.2	36.7	72.2	18.7	6.1	7.6	12.4	21.7	19.0	5.9	12.8	10.2	9.8	13.4	10.9	16.3	8.8	5.5
	経済学部 (n=2094)	41.7	42.3	72.1	23.1	5.3	10.9	15.2	20.2	21.3	6.6	15.3	11.0	10.0	13.8	12.8	19.6	10.4	7.4
	理工学部 (n=13817)	34.5	34.2	57.3	23.9	7.5	12.8	16.9	21.6	20.5	9.0	16.4	11.3	10.4	16.3	13.7	18.7	12.9	8.6
	農学部 (n=3862)	39.5	42.6	76.3	24.5	5.8	8.5	11.4	22.6	14.4	6.4	14.1	12.8	10.4	16.5	13.8	18.4	10.7	7.4
	薬学部 (n=3333)	38.7	44.0	69.2	24.0	6.4	5.0	10.4	19.0	14.0	6.1	10.9	8.4	9.7	13.5	10.4	13.4	7.8	5.3
	都市情報学部 (n=2436)	33.3	29.2	69.4	15.8	5.8	7.9	12.2	20.2	18.9	5.3	10.7	7.1	8.1	11.7	8.9	15.4	7.3	6.7
	人間学部 (n=2272)	37.8	33.2	82.0	15.1	5.4	8.6	11.1	23.1	16.8	4.0	9.8	8.8	8.3	9.0	6.3	13.8	7.9	9.1
	教職課程・学芸員課程 (n=659)	39.2	30.0	69.8	13.2	5.5	6.2	9.4	16.5	18.2	7.6	11.7	11.4	18.2	15.9	11.8	16.8	9.9	8.8
	全学共通教育部門 (n=2523)	36.2	34.6	70.5	14.3	6.7	7.2	10.0	18.9	20.5	3.7	8.0	6.9	7.5	8.5	7.3	11.5	5.5	5.1

網かけは、より改善が必要な項目(全体より5ポイント以上)

※1 「学力程度」のスコアは「どちらかといえば下」+「下」

※2 「自学自習時間」のスコアは「週30分未満」+「していない」

学生への設問の中で教員自身が改善できると考えられる12項目について、授業満足度への全体影響度と不満度から改善要求度を算出した。結果、「学生の理解度を確認しながら進めてほしい」「学生に興味がわくように工夫して進めてほしい」に関して改善要求度が高いことがわかった。

### 全体影響度

「全体影響度」とは、学生の**満足感への影響の強さ**を数値で表したものです。もう少し正確に表現しますと、各評価項目に対する評価と「授業満足」の評価との関係の強さを数値で表したものとすることになります。値は大きいほど関係が強く、最大で1.0、最小で0.0の値をとりますが、1.0に近い値をとることはほとんどなく、経験的には0.4程度の値でかなりの関係があると言えます。この「全体影響度」は、全学の結果を用いて算出しています。

### 不満度

「不満度」とは、評価項目に対する**学生の不満感の大きさ**を数値で表したものです。ある評価項目に対して、学生が「そうは思いません」という気持ちの程度を数値化して表したものととして理解してください。値が大きいほど不満感が強く、最大で1、最小で0の値をとります。

### 改善要求度

「授業満足」に対する評価を上げるためには、①「全体影響度」の大きな評価項目の、②不満度を減らす、ことができればよいことがわかります。すなわち、授業のやり方に対する学生からの改善要求の度合いは、「全体影響度」および「不満度」と比例関係にあることがわかります。そこで、「改善要求度」を以下のように定義しました。

$$\text{「改善要求度」} = \frac{\text{「影響度」} \times \text{「不満度」}}{\text{「影響度」の最大値}} \times 100$$

「改善要求度」は、大学全体で算出した「全体影響度」の最大値で除してあり、最大値が100、最小値が0になるように規格化しています。

	全体影響度	不満度	改善要求度
5.この授業では自分にとって、新しいことを学んでいる	0.27	0.30	16.8
6.この授業によって実力が身に付き、将来役立つと思う	0.36	0.37	28.1
7.この授業によって、学問への興味・関心が引き起こされた	0.41	0.42	36.9
8.この授業によって、自分で調べ、考える姿勢が得られた	0.30	0.49	30.3
9.この授業は私語が少ない	0.18	0.40	14.8
10.この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる	0.39	0.31	25.3
11.この授業は学生に興味がわくように工夫して進められている	0.48	0.41	41.3
12.この授業では授業の大切なポイントがきちんと示されている	0.43	0.36	32.4
13.この授業では成績評価基準が明確に示されている	0.31	0.35	23.4
14.この授業では板書や資料等の文字は読み取りやすい	0.35	0.37	27.0
15.この授業では教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい	0.41	0.35	30.1
16.この授業では学生の理解度を確認しながら進められている	0.46	0.44	42.4
全体影響度の最大値	0.48		

## 6 授業満足度から見た授業改善項目（全学）

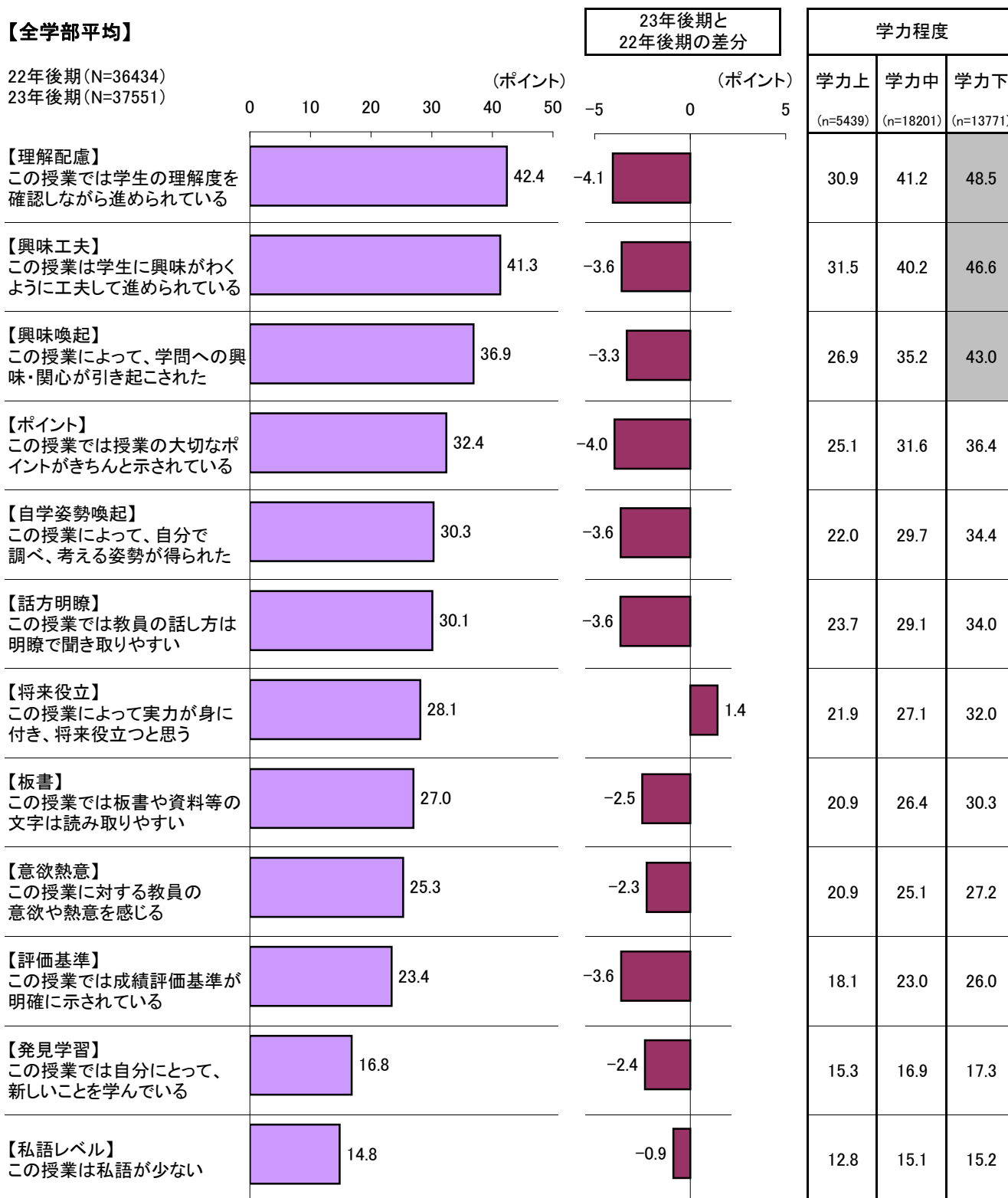
[学生]

学生による改善要求度は「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」で高い。また、これらの項目を中心に学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほど改善要求度が高い。一方、「私語レベル」「発見学習」への改善要求度は低い。前年と比較すると、改善要求度は全般的に低い。

### <改善要求度の高い項目>

#### 【全学部平均】

22年後期(N=36434)  
23年後期(N=37551)



(ポイント)

\* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

## 6 授業満足度から見た授業改善項目（法学部）

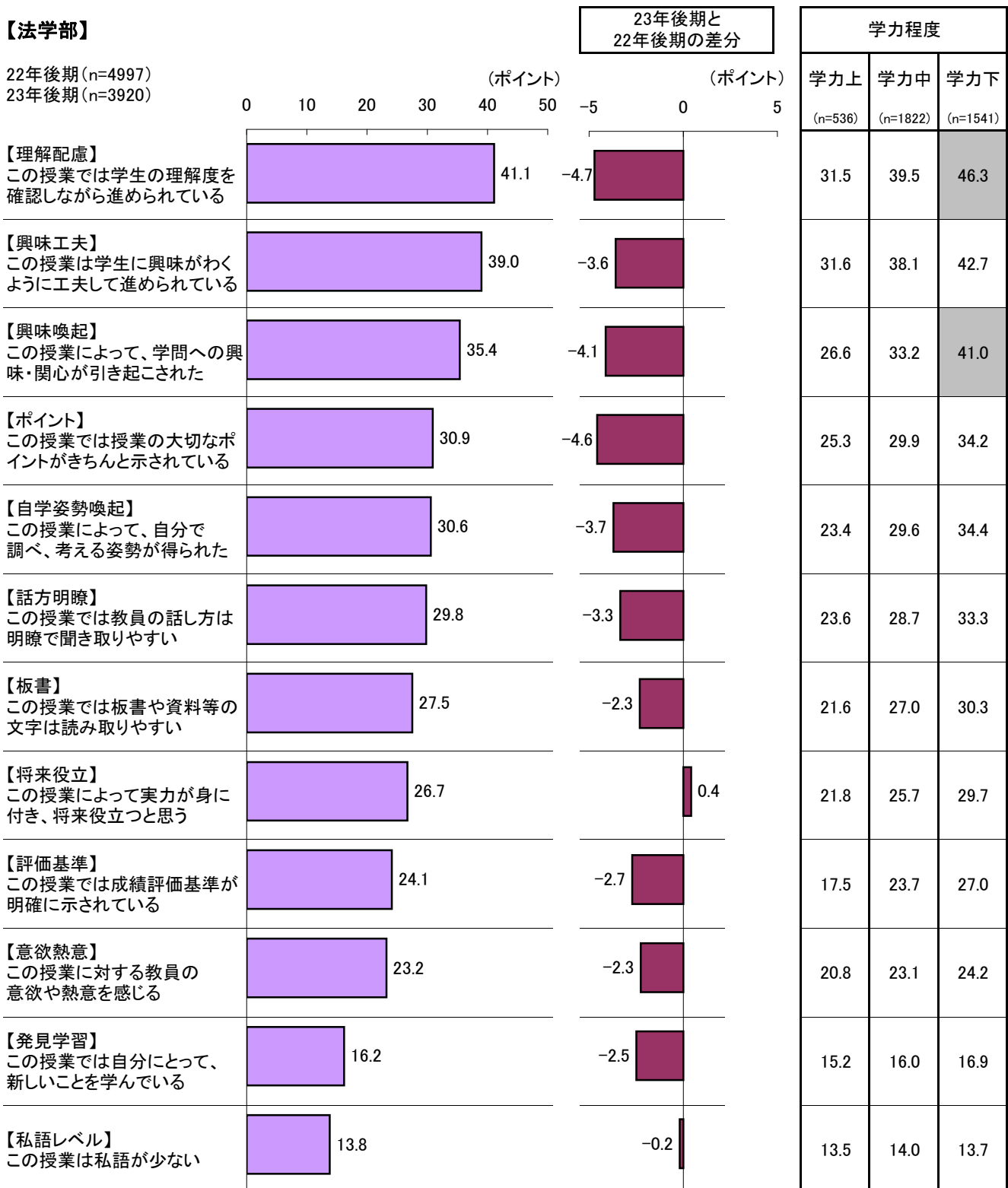
[学生]

法学部では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。前年と比較すると、改善要求度は全般的に低い。

### <改善要求度の高い項目>

#### 【法学部】

22年後期 (n=4997)  
23年後期 (n=3920)



(ポイント)

\* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

## 6 授業満足度から見た授業改善項目（経営学部）

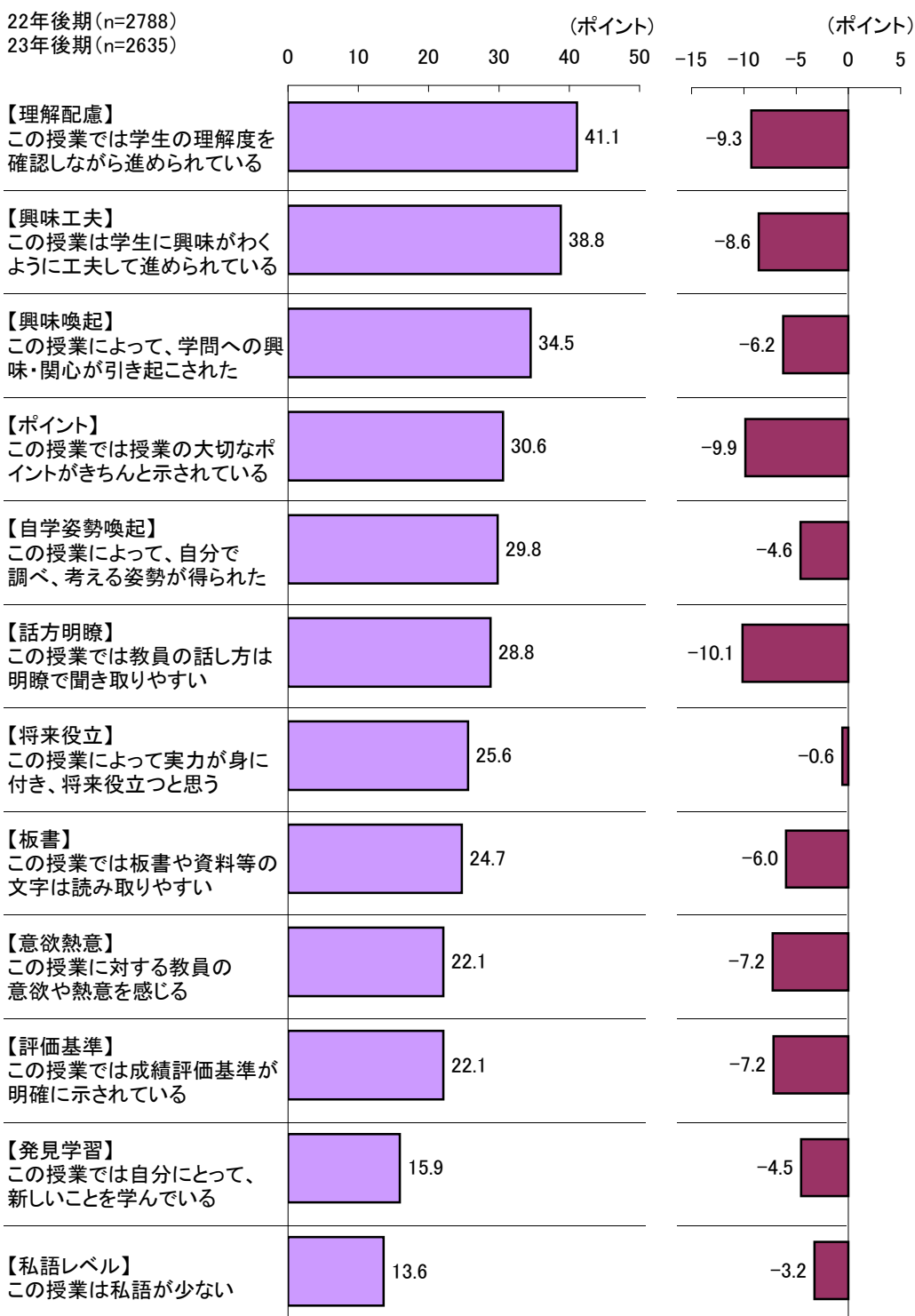
[学生]

経営学部では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。前年と比較すると、「話方明瞭」「ポイント」「理解配慮」をはじめ、全般的に低い。

### <改善要求度の高い項目>

#### 【経営学部】

22年後期(n=2788)  
23年後期(n=2635)



学力程度		
学力上 (n=434)	学力中 (n=1225)	学力下 (n=967)
27.0	41.8	46.6
26.1	39.8	43.4
22.7	34.0	40.5
21.4	31.0	34.3
18.8	30.3	34.2
20.4	29.6	31.7
17.8	25.7	29.1
17.3	24.9	27.6
16.9	23.3	23.1
15.7	22.5	24.7
14.1	16.5	16.0
9.6	14.3	14.4

(ポイント)

\* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

## 6 授業満足度から見た授業改善項目（経済学部）

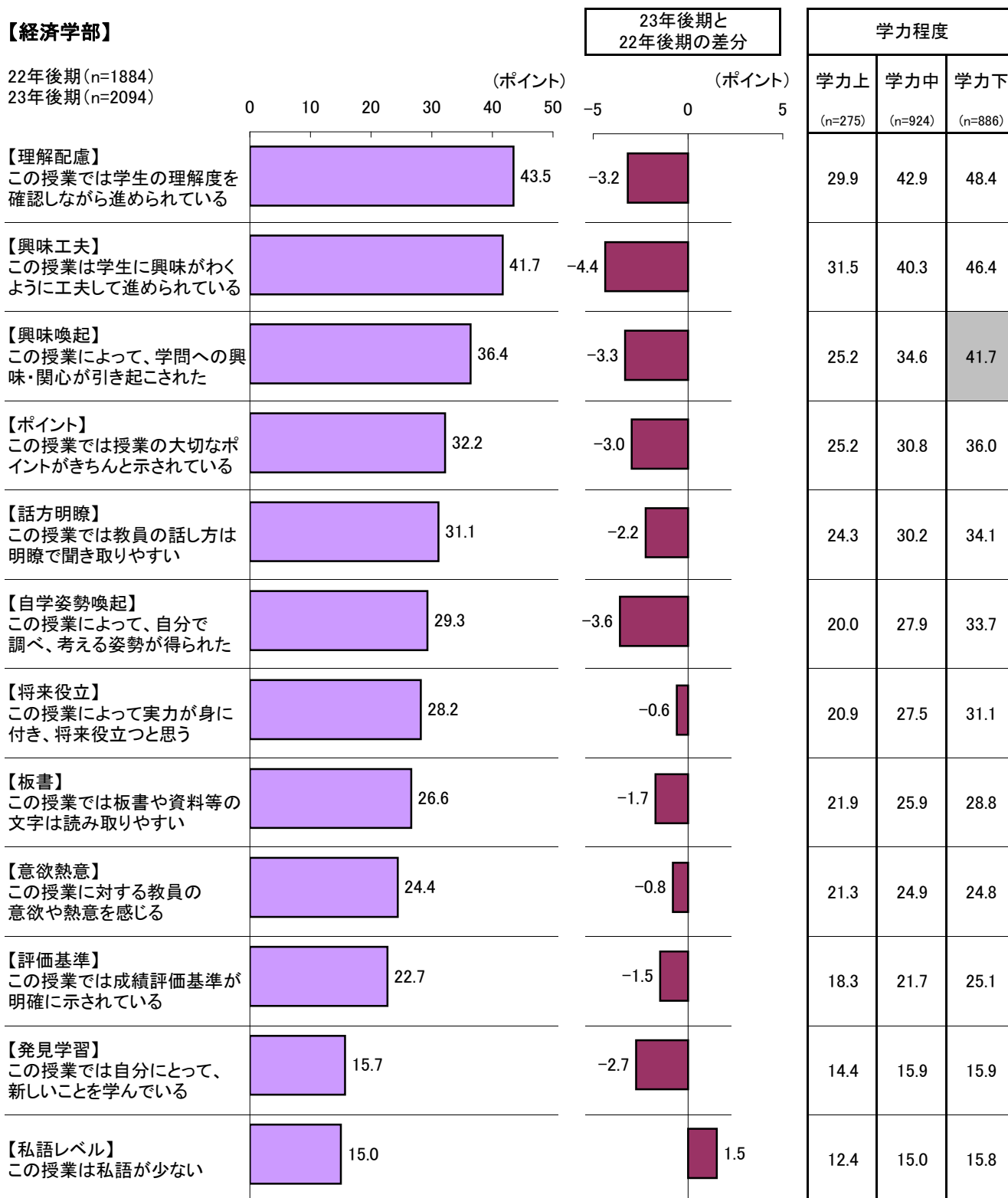
[学生]

経済学部では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。前年と比較すると、改善要求度は全般的に低い。

### <改善要求度の高い項目>

#### 【経済学部】

22年後期(n=1884)  
23年後期(n=2094)



(ポイント)

\* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け



## 6 授業満足度から見た授業改善項目（理工学部）

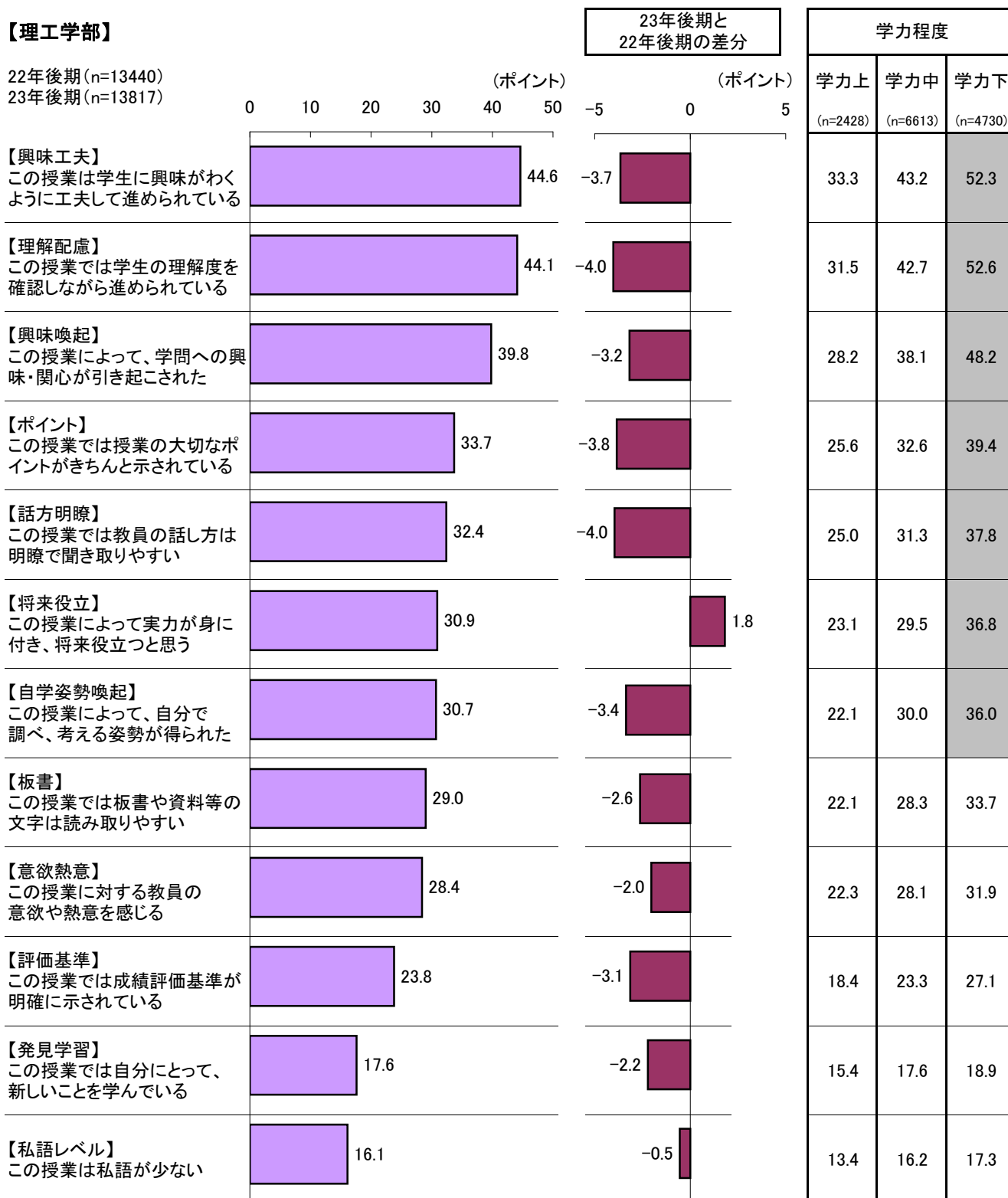
[学生]

理工学部では「興味工夫」「理解配慮」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。前年と比較すると、改善要求度は全般的に低い。

### <改善要求度の高い項目>

#### 【理工学部】

22年後期(n=13440)  
23年後期(n=13817)



(ポイント)

\* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

## 6 授業満足度から見た授業改善項目（農学部）

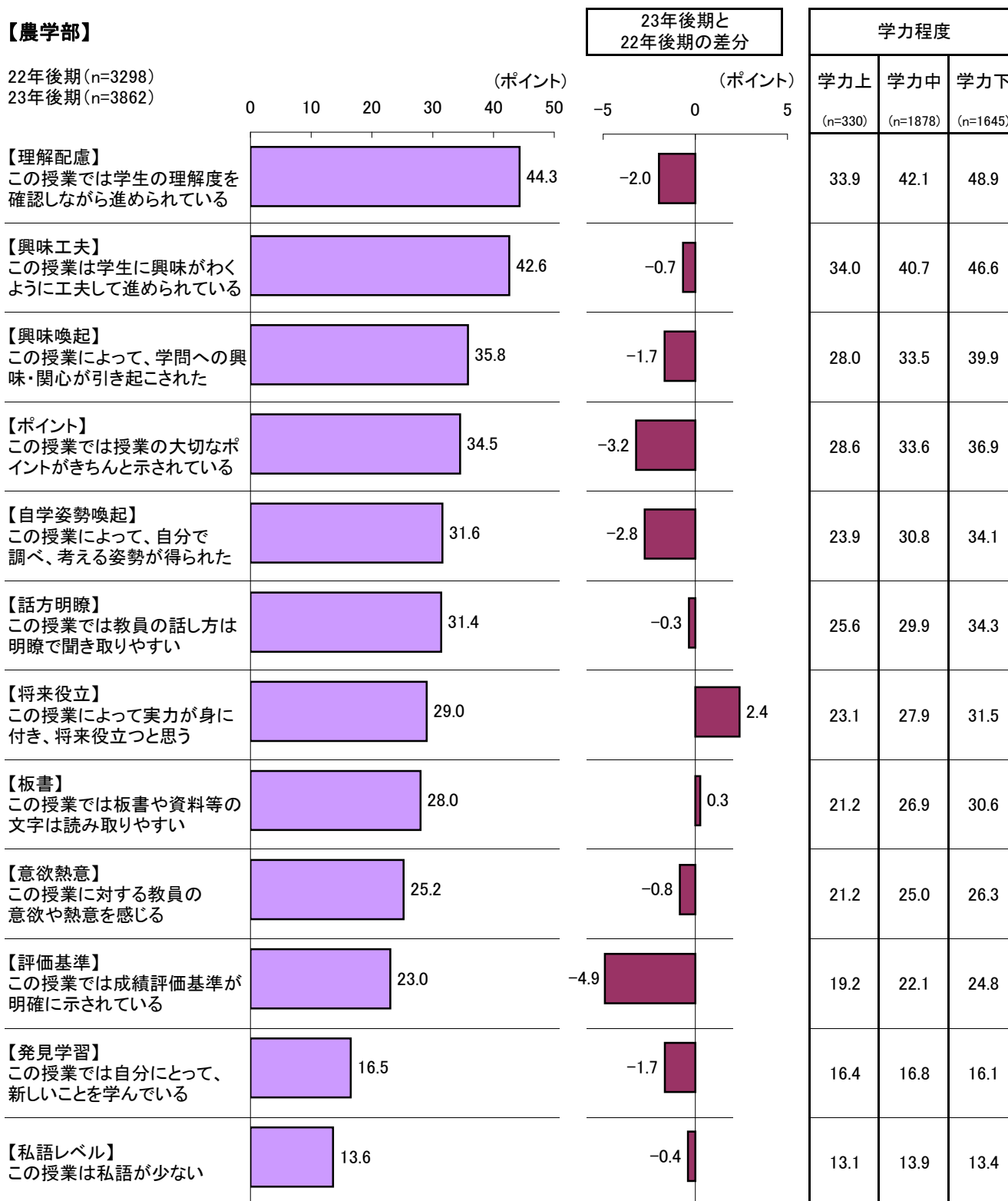
[学生]

農学部では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。前年と比較すると、「評価基準」をはじめ、全般的に低い。

### <改善要求度の高い項目>

#### 【農学部】

22年後期 (n=3298)  
23年後期 (n=3862)



(ポイント)

\* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

## 6 授業満足度から見た授業改善項目（薬学部）

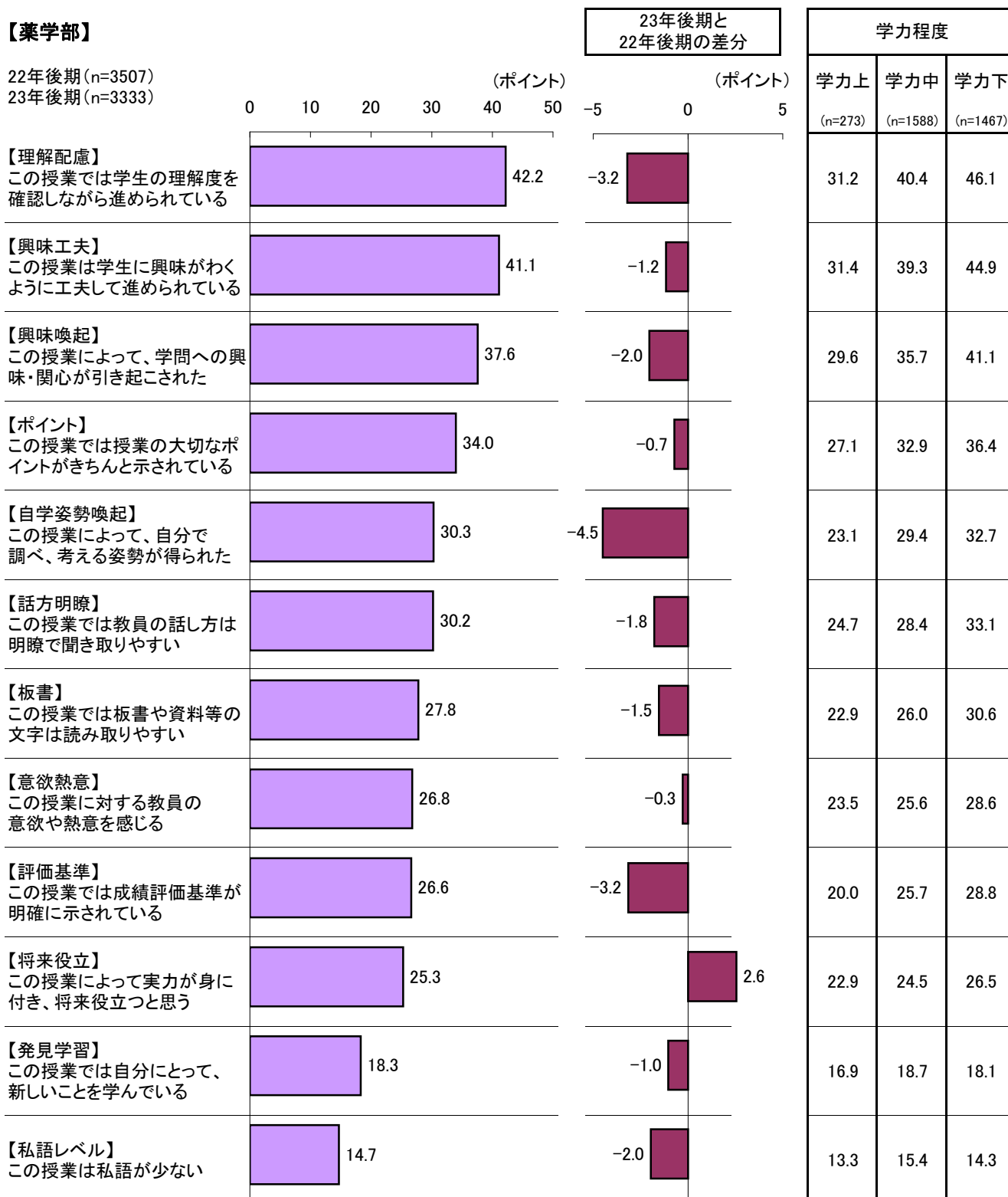
[学生]

薬学部では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。前年と比較すると、改善要求度は全般的に低い。

### <改善要求度の高い項目>

#### 【薬学部】

22年後期 (n=3507)  
23年後期 (n=3333)



(ポイント)

\* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

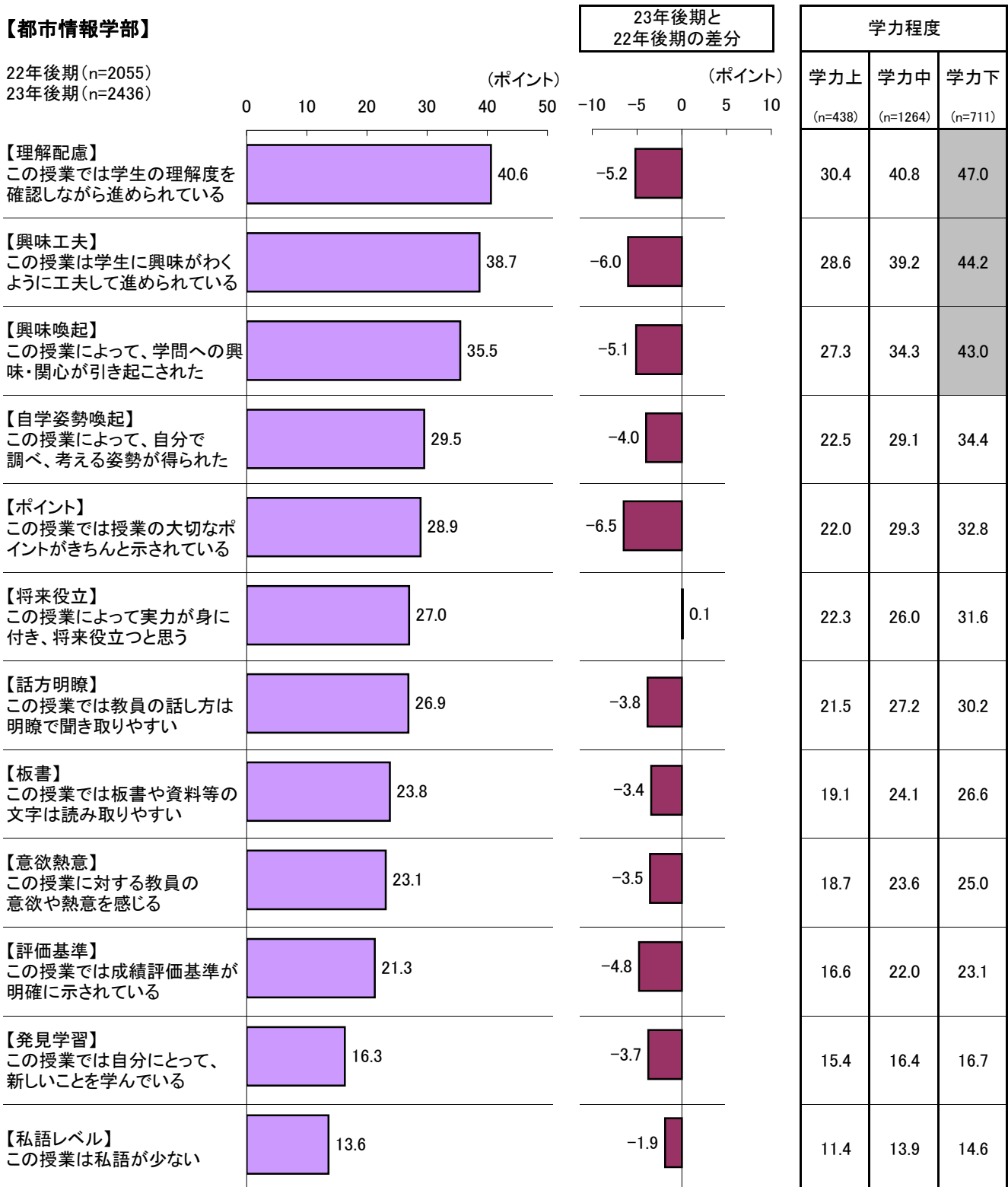
## 6 授業満足度から見た授業改善項目（都市情報学部） [学生]

都市情報学部では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。前年と比較すると、「ポイント」「興味工夫」「理解配慮」「興味喚起」をはじめ、全般的に低い。

### <改善要求度の高い項目>

#### 【都市情報学部】

22年後期 (n=2055)  
23年後期 (n=2436)



(ポイント)

\* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

## 6 授業満足度から見た授業改善項目（人間学部）

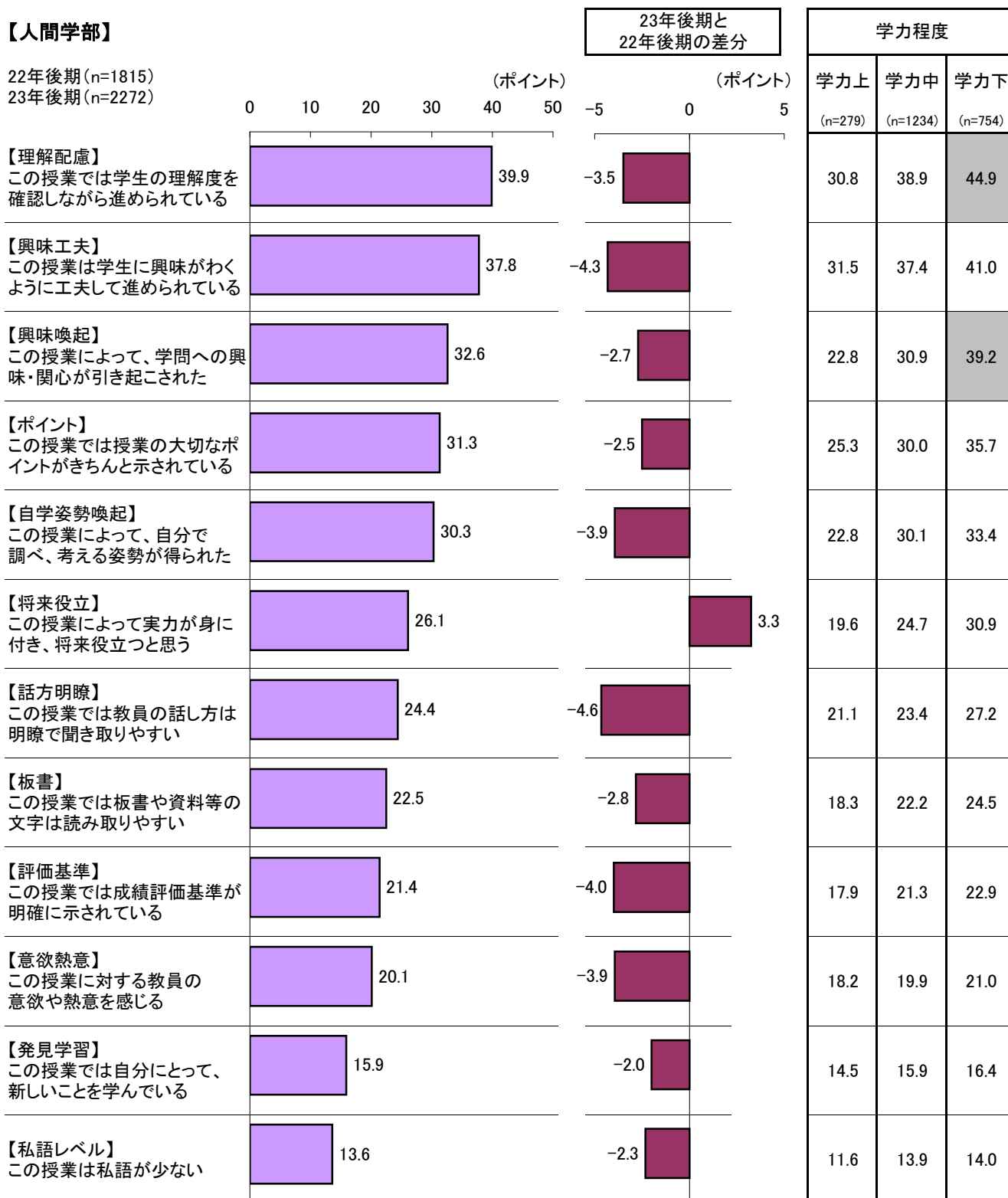
[学生]

人間学部では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。前年と比較すると、改善要求度は全般的に低い。

### <改善要求度の高い項目>

#### 【人間学部】

22年後期(n=1815)  
23年後期(n=2272)



(ポイント)

\* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

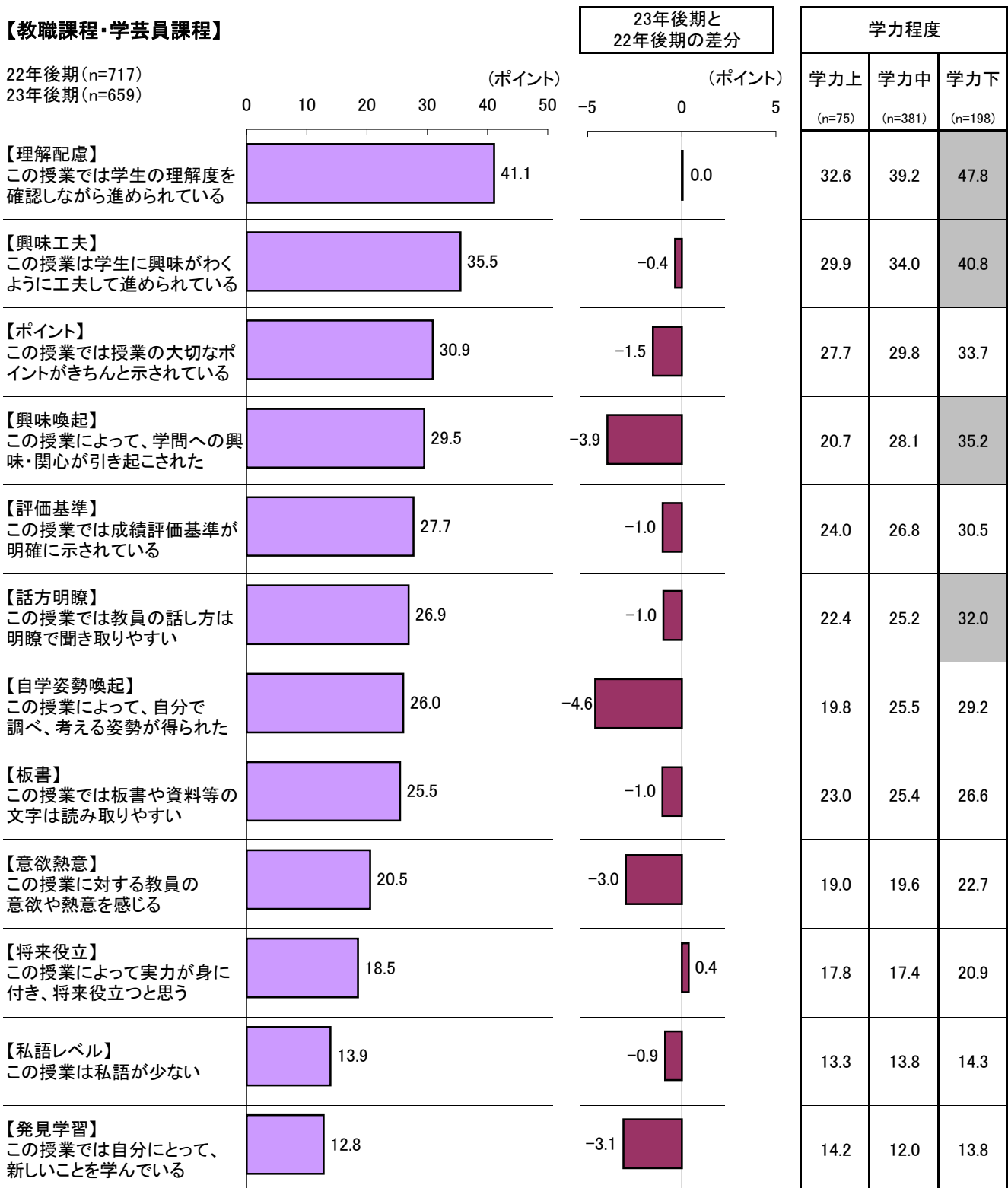
## 6 授業満足度から見た授業改善項目（教職課程・学芸員課程） [学生]

教職課程・学芸員課程では「理解配慮」「興味工夫」「ポイント」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。前年と比較すると、改善要求度は全般的に低い。

### <改善要求度の高い項目>

#### 【教職課程・学芸員課程】

22年後期(n=717)  
23年後期(n=659)



(ポイント)

\* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

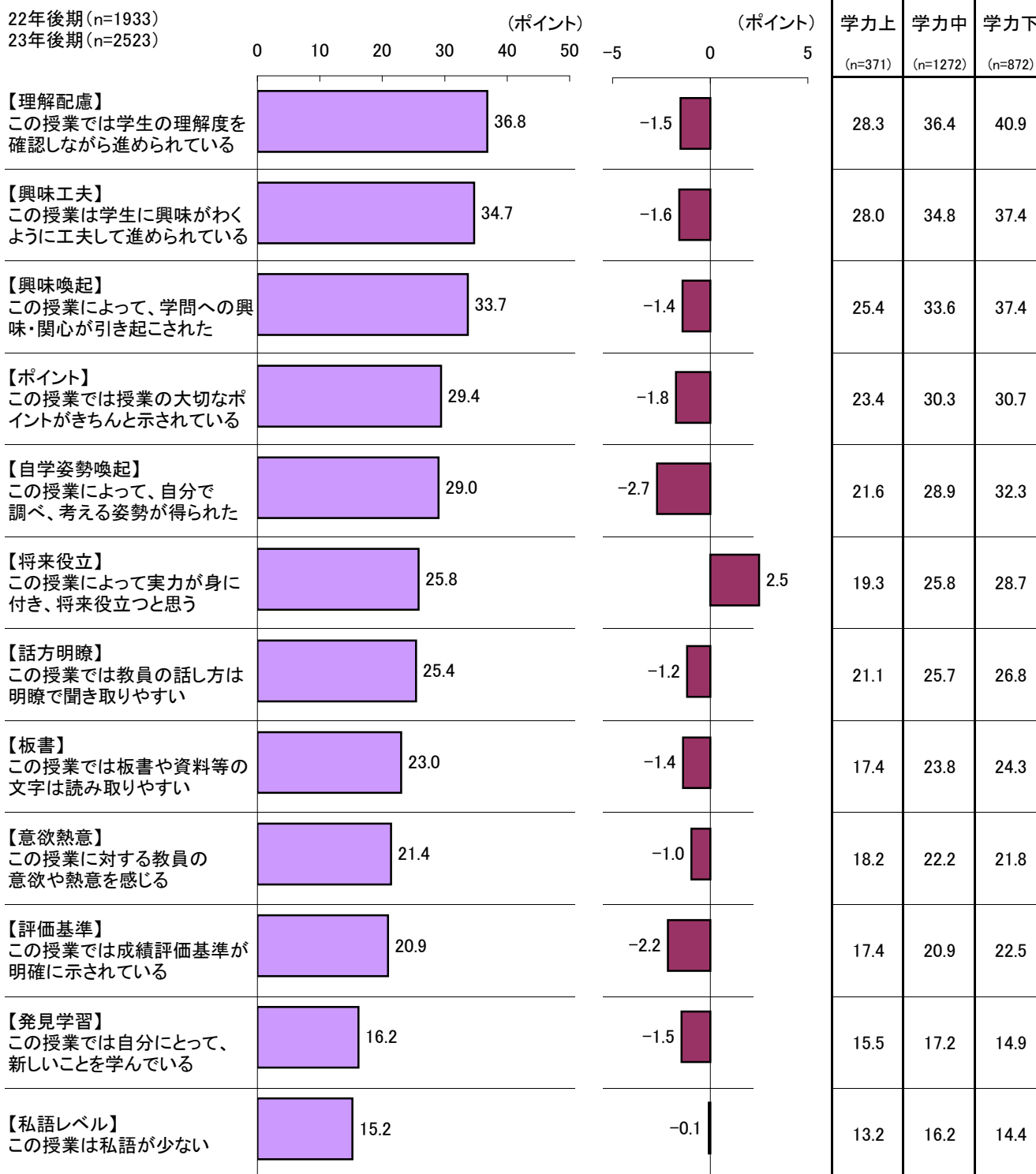
## 6 授業満足度から見た授業改善項目（全学共通教育部門） [学生]

全学共通教育部門では「理解配慮」「興味工夫」「興味喚起」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。前年と比較すると、改善要求度は全般的に低い。

### <改善要求度の高い項目>

#### 【全学共通教育部門】

22年後期 (n=1933)  
23年後期 (n=2523)



(ポイント)

\* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

# 7 学生と教員の授業満足度の関係 (授業プロット)

[授業]

学生の授業満足度と教員の授業満足度の関係を分かりやすく表すため各授業を平面上にプロットした。学生、教員とも授業満足度の高い右上の①象限にある授業数の割合は、全体の4割弱。教員の授業満足度別に学生満足度をみると、教員が満足している授業は学生の満足度も高くなる。

## <学生授業満足度×教員授業満足度>

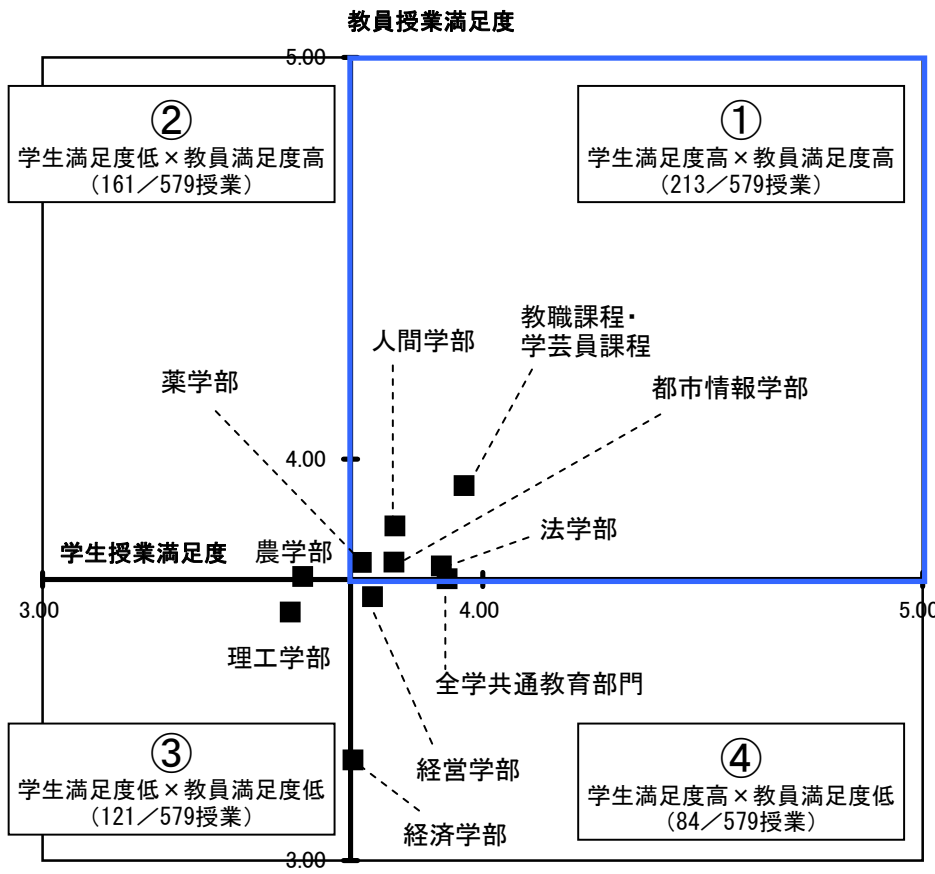
授業ベース

「学生設問 Q17. この授業は満足いくものである。」

「教員設問 Q16. 自分はこの授業に満足している。」

の関係を分かりやすく表すため各授業を平面上にプロットした。

集計対象は学生と教員のデータがどちらも存在し、教員調査の「Q16. 授業満足」に回答のある579授業とした。



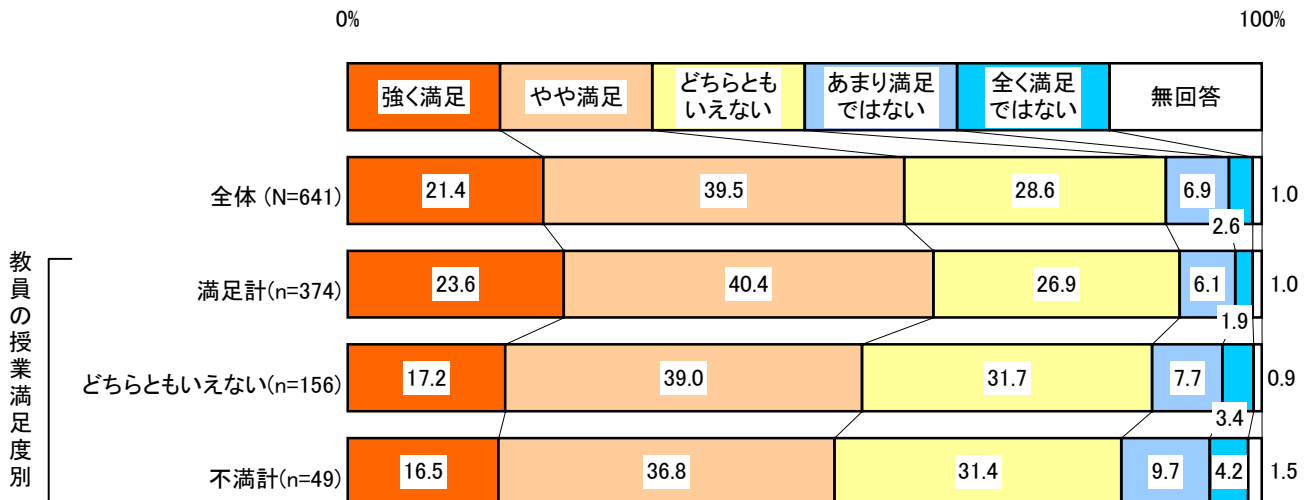
### 【象限①学生満足度高×教員満足度高】

		(n=579)	%
開講学部別	全体	(n=579)	36.8
	法学部	(n=75)	52.0
	経営学部	(n=35)	34.3
	経済学部	(n=20)	15.0
	理工学部	(n=236)	29.2
	農学部	(n=41)	29.3
	薬学部	(n=31)	35.5
	都市情報学部	(n=35)	42.9
	人間学部	(n=24)	45.8
	教職課程・学芸員課程	(n=67)	47.8
全学共通教育部門	(n=15)	60.0	

※軸は学生・教員の平均点

## <教員の授業満足度別にみた学生の授業満足>

授業ベース





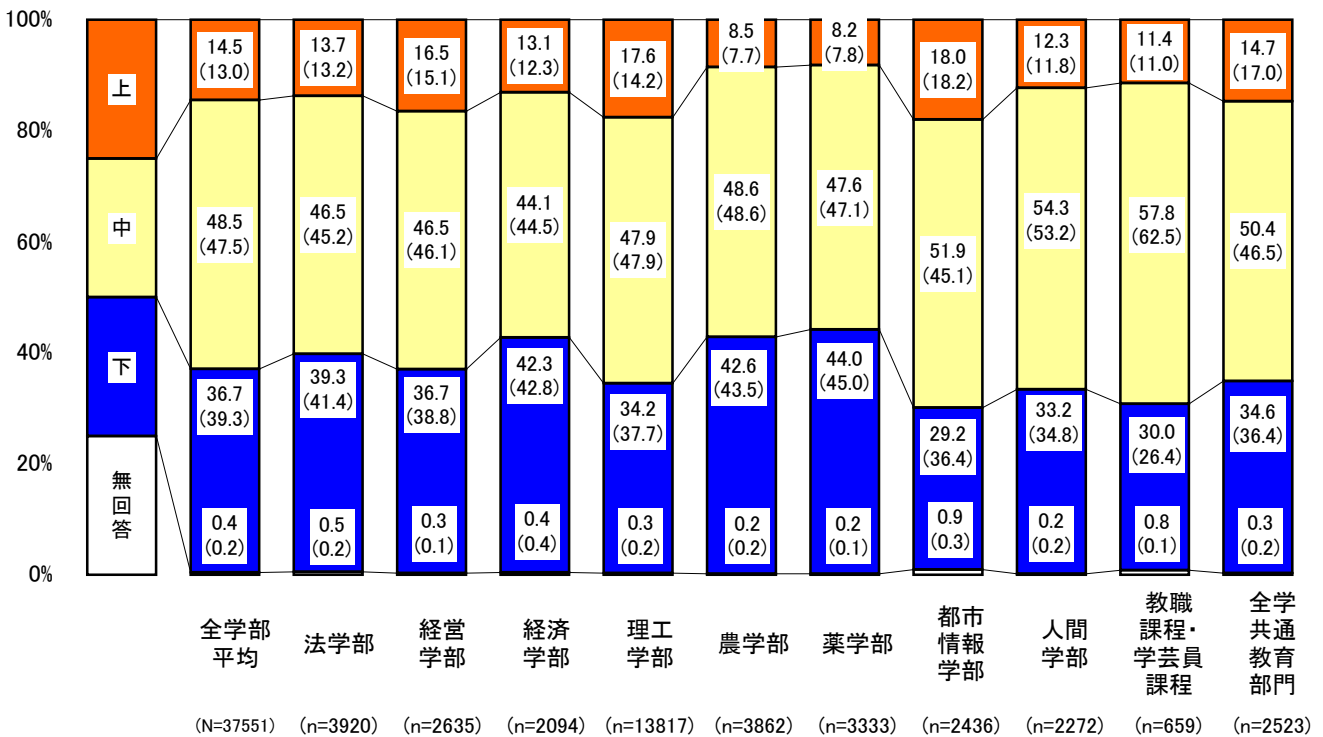
# 8 学力程度別の授業満足度

[学生]

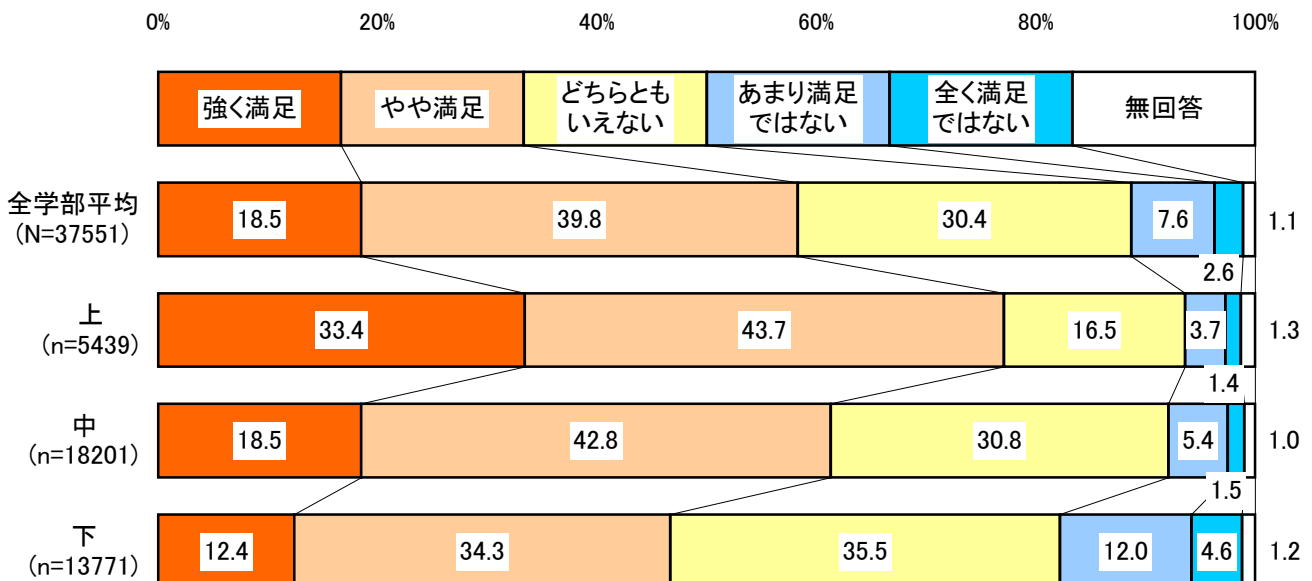
学生の学力の自己評価と授業満足度の関連について調べた。学生の自己評価が「上」の学生ほど満足度は高く、8割弱が授業に満足している。一方、自己評価が「下」の学生ほど満足度が低くなる傾向にあり、「授業に満足している」と回答した学生は5割弱にとどまる。

学生の学力を聞いた、「学生設問 Q2. この授業における自分の学力はどの程度だと思いますか。」についての回答をもとに学力を上、中、下に分類した。  
各学カレベル別に授業満足度がどの程度変化があるのか確認する。

<学カレベルの分布> ( )内は、前回のスコア



<学カレベル別満足度>

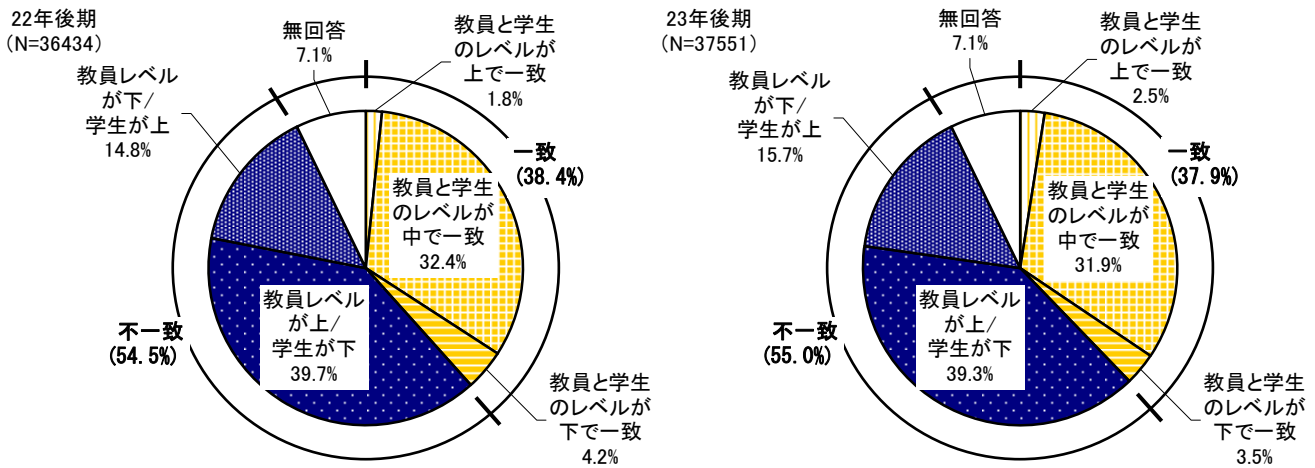


# 9 教員と学生の対象レベルの一致

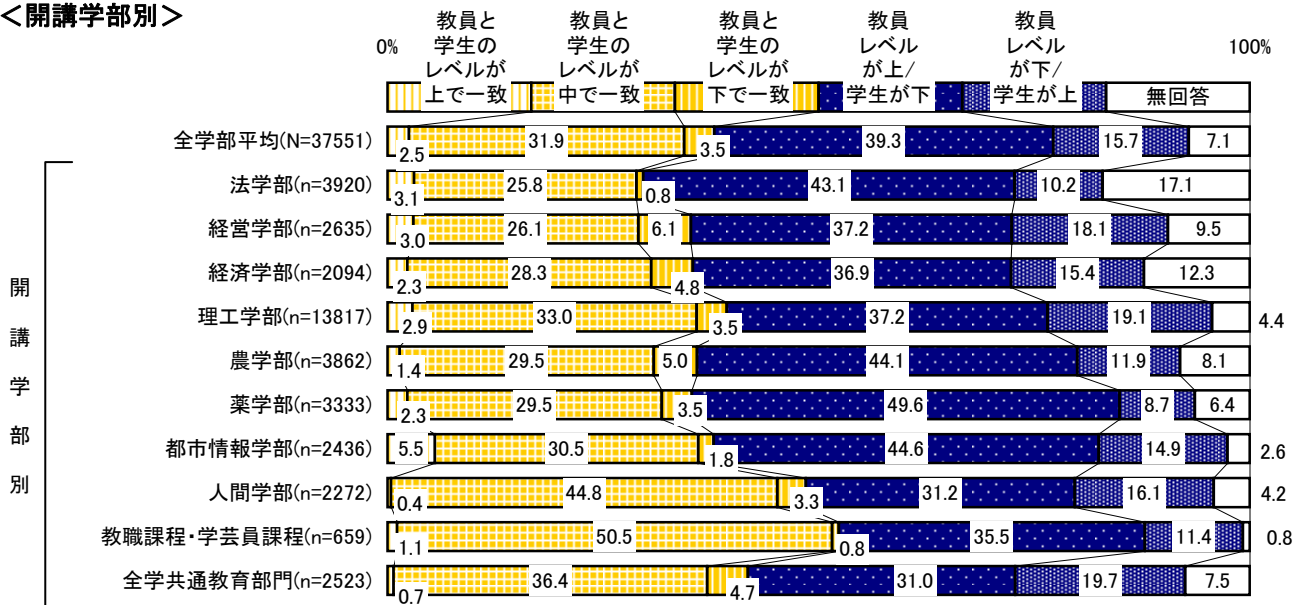
[教員] [学生]

教員が想定する学生の学力レベルと学生が自ら感じている自分の学力レベル(自己評価)との関連を調べた。それぞれのレベルが一致するのは4割弱の授業であり、一致しない授業が半数を超え、教員が想定する学生の学力レベルより、学生が自ら感じている自分の学力レベルが低い場合が4割にのぼる。なお、「両者のレベルが上で一致」した場合の満足度が最も高い。

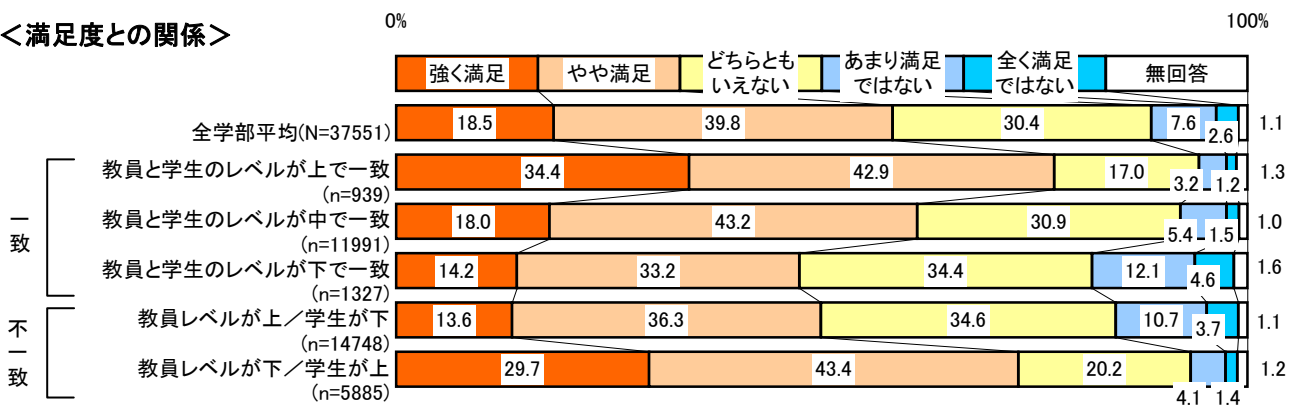
「教員設問 Q2. この授業はどのレベルの学生に合わせていますか。」  
 「学生設問 Q2. この授業における自分の学力はどの程度だと思いますか。」  
 について、一致度合いを確認した。



## <開講学部別>



## <満足度との関係>



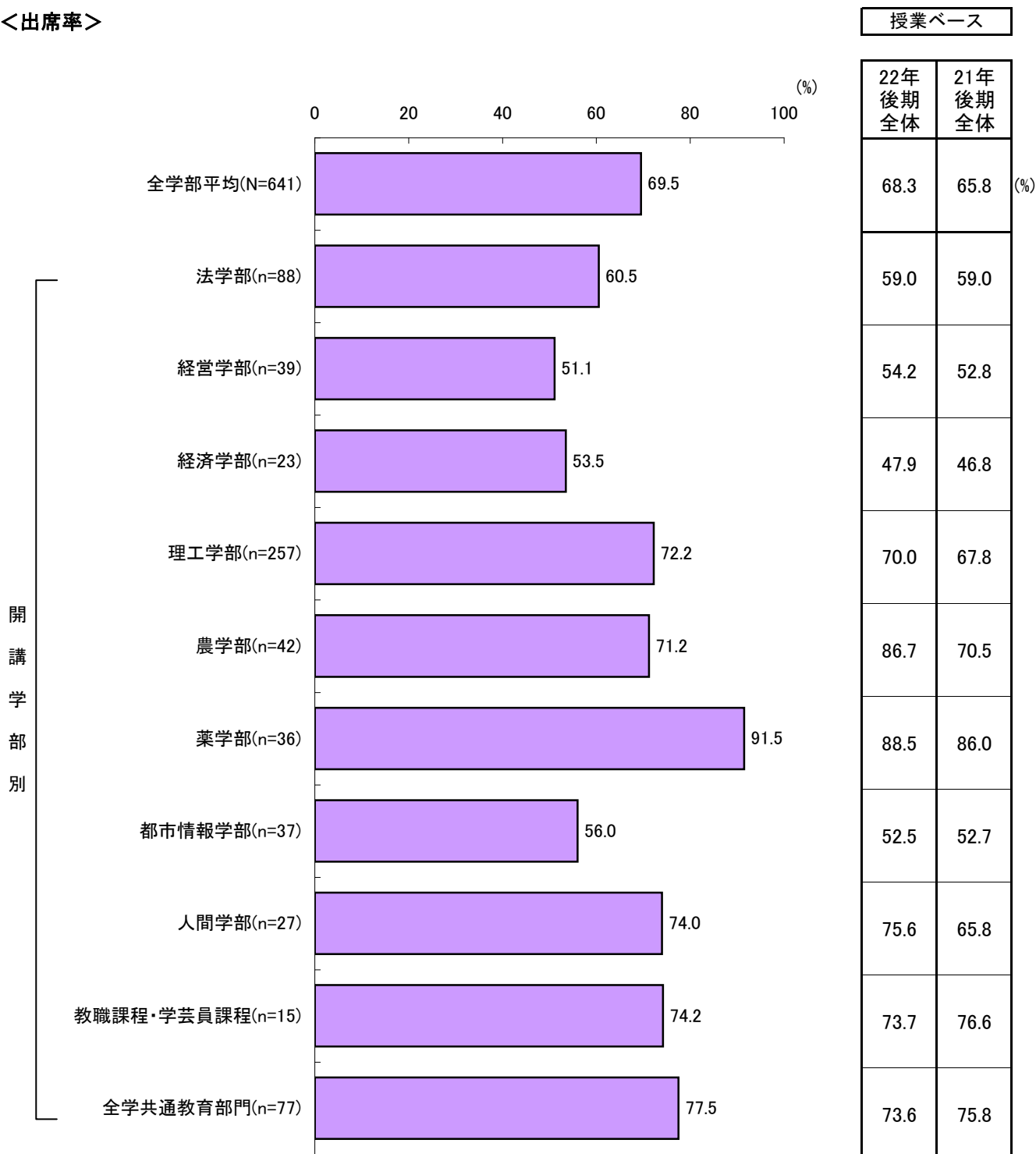
各授業における受講者数(登録学生数)とアンケート回答者数から出席率を算出した。出席率が高いのは薬学部で9割を超える。一方、経営学部、経済学部では5割強にとどまる。

各授業の受講学生(登録学生)数と本アンケート調査の回答者数をもとに出席率を計算した。ここで表す出席率とは

$$\text{出席率} = \frac{\text{本アンケート回答者数(各授業における)}}{\text{受講者数(登録学生数)}}$$

とした。

### <出席率>



# 1.1 出席学生数と出席学生数別満足度

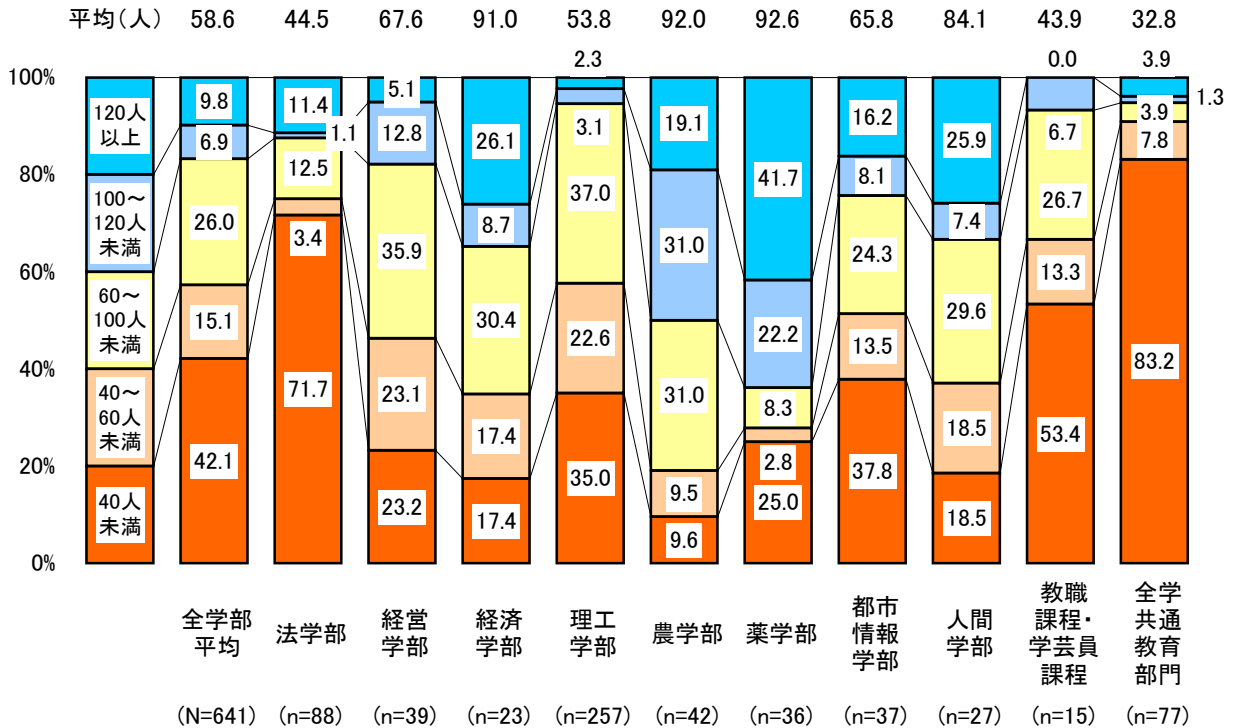
[授業]

各授業別の回答者数を出席学生数と捉え、出席学生数別に授業満足度を確認した。  
1クラスあたりの出席者が40人未満になると満足度が高くなることがわかった。それ以上の出席者の授業では出席者の人数による満足度の変化は小さい。

Q17. この授業は満足のものである。

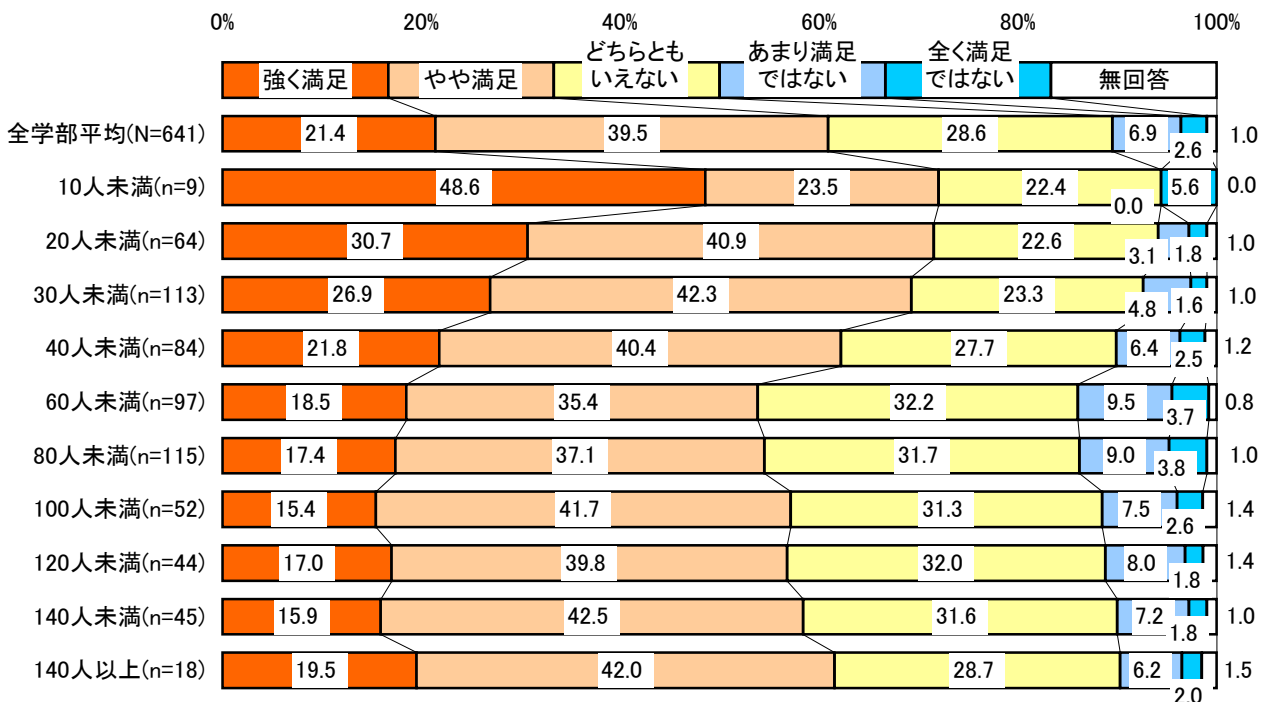
<授業あたりのアンケート回答者数>

授業ベース



<アンケート回答者数(出席学生数)別授業満足度>

授業ベース

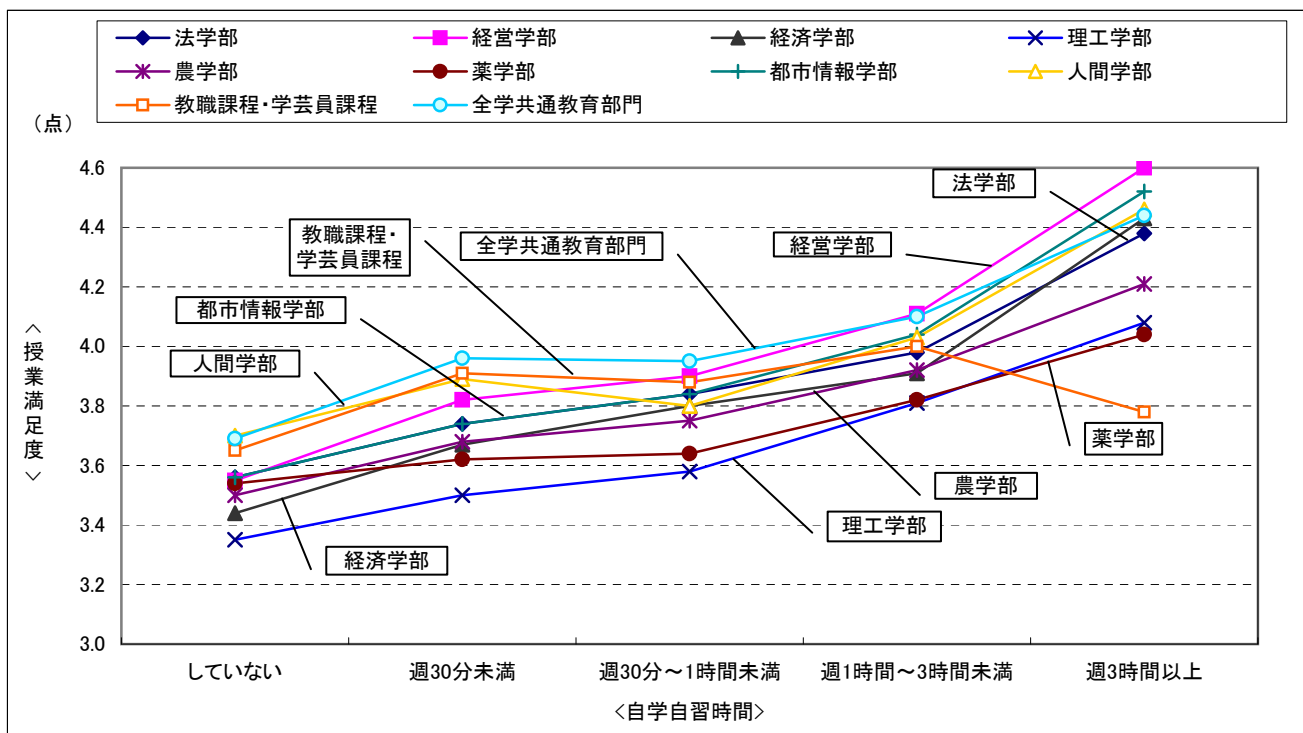
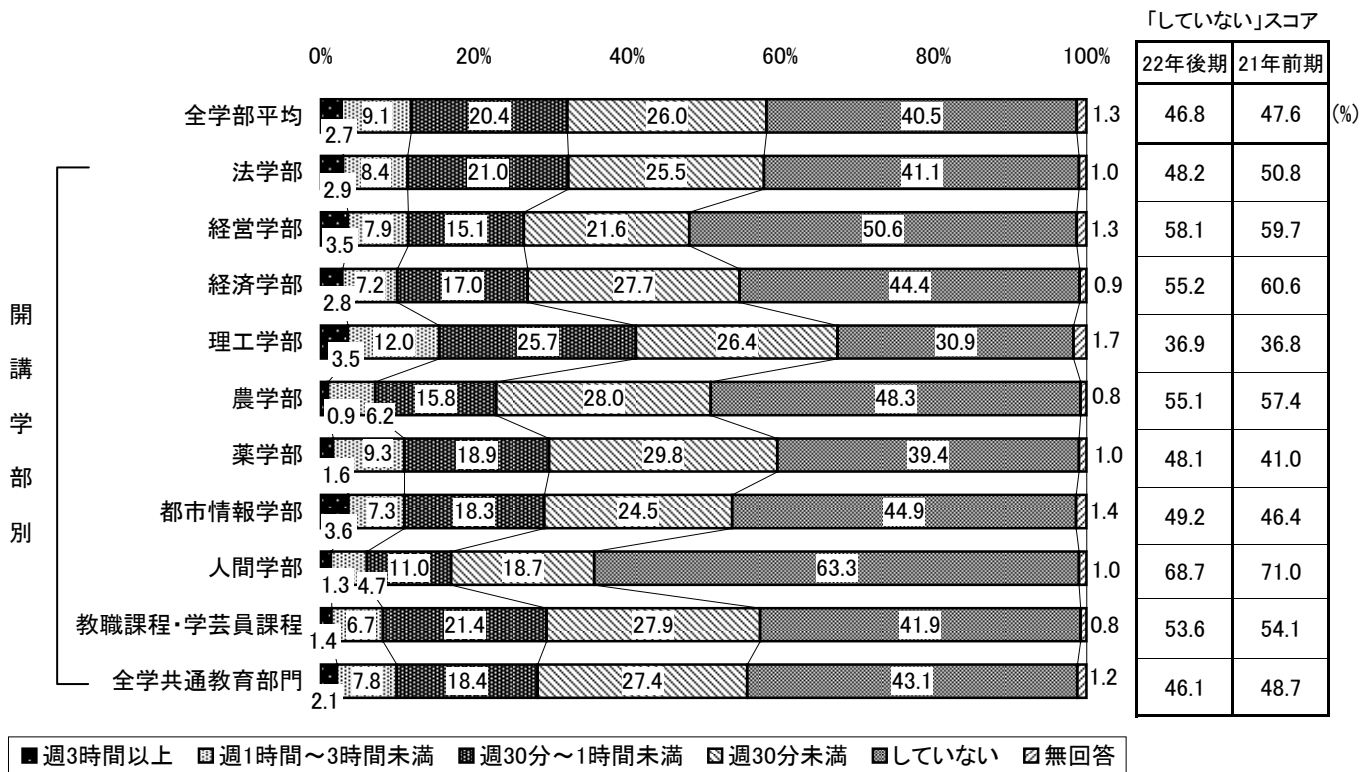


# 12 自学自習時間と授業満足度の関係（1）

[学生]

自学自習時間と授業満足度との関係を各学部別に確認した。  
 自学自習をしていない学生が約4割を占めるが、理工学部ではその割合が最も低い。  
 自学自習時間が長い学生ほど、授業に対する満足度が高い傾向がみられる。

Q3. この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)は。  
 Q17. この授業は満足のものである。



## 1.2 自学自習時間と授業満足度の関係（2）（授業プロット）[授業]

自学自習時間と授業満足度の関係を平面上に各授業をプロットした。  
 自学自習時間も長く、授業満足度の高い右上の①象限にある授業数の割合は前年との比較では大きな変化はない。

### <授業満足度×自学自習時間>

23年後期

象限	授業数(641授業)	
①	149	23.2
②	124	19.3
③	178	27.8
④	190	29.6%

22年後期

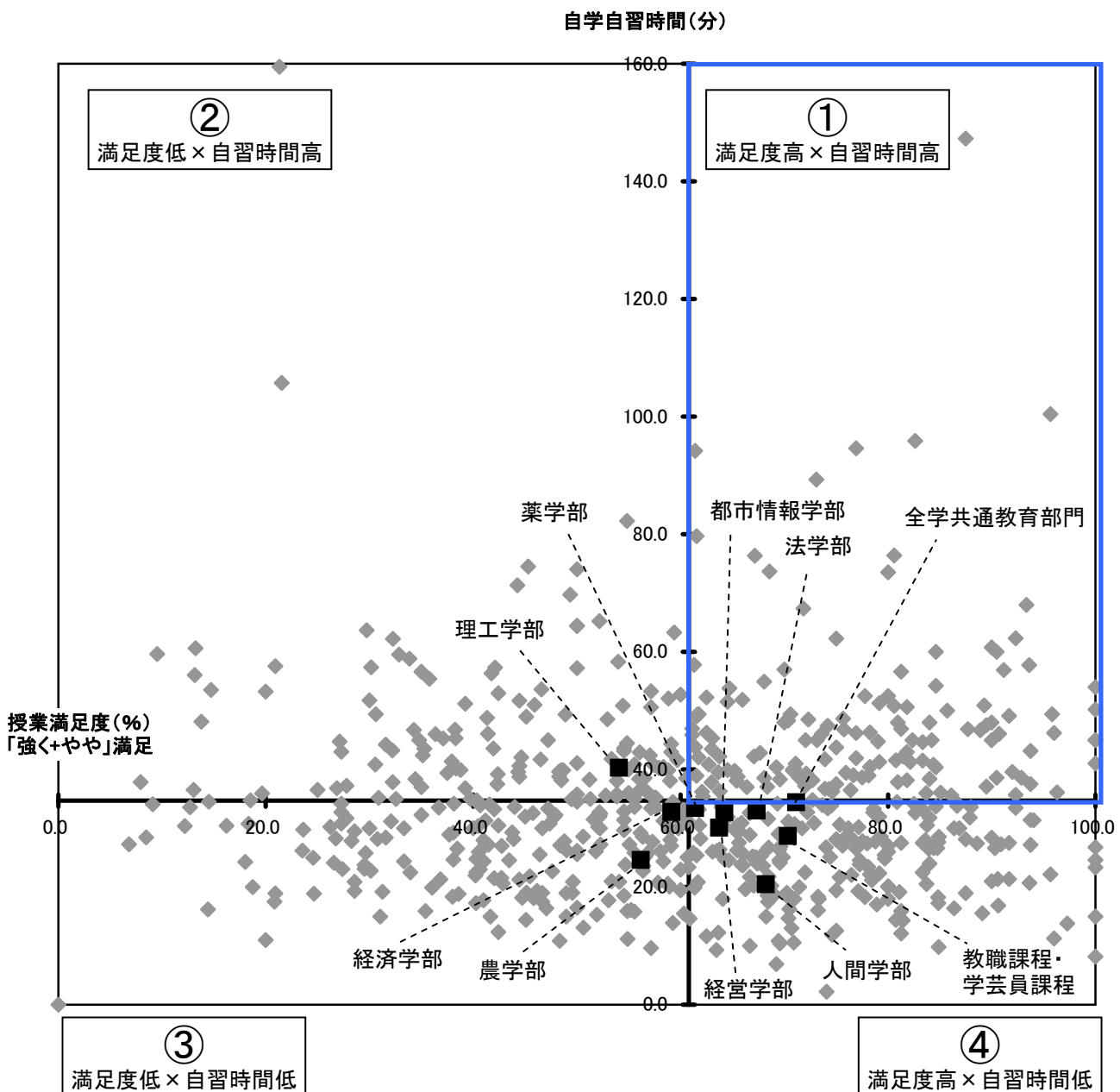
象限	授業数(630授業)	
①	140	22.2
②	117	18.6
③	197	31.3
④	176	27.9%

21年後期

象限	授業数(676授業)	
①	138	20.4
②	110	16.3
③	227	33.6
④	201	29.7%

20年前期

象限	授業数(671授業)	
①	152	22.7
②	110	16.4
③	230	34.3
④	179	26.7%



※軸は授業満足度(「強く+やや」)・自学自習時間の平均

## 12 自学自習時間と授業満足度の関係（2）（授業プロット） [授業]

自学自習時間が長く、授業満足度も高い①象限に含まれる授業が最も多かった学部は全学共通教育部門。薬学部、都市情報学部は①象限の授業が前年よりも増加した。農学部、人間学部、経済学部は①象限の授業が1割に届かない。

### <授業満足度×自学自習時間>

#### 【全学部平均】

象限	23年後期 (641授業)	22年後期 (630授業)	21年後期 (676授業)	20年前期 (671授業)
①	23.2	22.2	20.4	22.7
②	19.3	18.6	16.3	16.4
③	27.8	31.3	33.6	34.3
④	29.6	27.9	29.7	26.7

#### 【法学部】

象限	23年後期 (88授業)	22年後期 (102授業)	21年後期 (101授業)	20年前期 (92授業)
①	25.0	23.5	23.8	33.7
②	14.8	14.7	8.9	6.5
③	20.5	23.5	24.8	18.5
④	39.8	38.2	42.6	41.3

#### 【薬学部】

象限	23年後期 (36授業)	22年後期 (37授業)	21年後期 (38授業)	20年前期 (25授業)
①	27.8	13.5	31.6	36.0
②	8.3	13.5	21.1	24.0
③	36.1	35.1	26.3	28.0
④	27.8	37.8	21.1	12.0

#### 【経営学部】

象限	23年後期 (39授業)	22年後期 (38授業)	21年後期 (46授業)	20年前期 (38授業)
①	15.4	10.5	10.9	10.5
②	2.6	2.6	4.3	0.0
③	41.0	57.9	54.3	63.2
④	41.0	28.9	30.4	26.3

#### 【都市情報学部】

象限	23年後期 (37授業)	22年後期 (34授業)	21年後期 (40授業)	20年前期 (29授業)
①	29.7	17.6	22.5	6.9
②	13.5	17.6	10.0	17.2
③	24.3	32.4	37.5	44.8
④	32.4	32.4	30.0	31.0

#### 【経済学部】

象限	23年後期 (23授業)	22年後期 (21授業)	21年後期 (29授業)	20年前期 (30授業)
①	8.7	0.0	3.4	3.3
②	13.0	14.3	3.4	0.0
③	52.2	57.1	62.1	56.7
④	26.1	28.6	31.0	40.0

#### 【人間学部】

象限	23年後期 (27授業)	22年後期 (22授業)	21年後期 (27授業)	20年前期 (30授業)
①	7.4	9.1	3.7	16.7
②	0.0	4.5	0.0	0.0
③	25.9	36.4	37.0	23.3
④	66.7	50.0	59.3	60.0

#### 【理工学部】

象限	23年後期 (257授業)	22年後期 (258授業)	21年後期 (265授業)	20年前期 (273授業)
①	26.1	27.5	20.4	22.3
②	33.9	29.1	29.4	24.5
③	24.1	29.1	32.8	35.9
④	16.0	14.3	17.4	17.2

#### 【教職課程・学芸員課程】

象限	23年後期 (15授業)	22年後期 (18授業)	21年後期 (19授業)	20年前期 (24授業)
①	26.7	22.2	15.8	4.2
②	13.3	11.1	0.0	12.5
③	20.0	11.1	31.6	37.5
④	40.0	55.6	52.6	45.8

#### 【農学部】

象限	23年後期 (42授業)	22年後期 (37授業)	21年後期 (47授業)	20年前期 (43授業)
①	0.0	8.1	4.3	4.7
②	7.1	2.7	4.3	7.0
③	50.0	54.1	42.6	39.5
④	42.9	35.1	48.9	48.8

#### 【全学共通教育部門】

象限	23年後期 (77授業)	22年後期 (63授業)	21年後期 (64授業)	20年前期 (87授業)
①	32.5	33.3	42.2	41.4
②	9.1	12.7	9.4	23.0
③	22.1	15.9	17.2	24.1
④	36.4	38.1	31.3	11.5

\* 全体より10ポイント以上高いものに網掛け

# 13 試験実施方法とその満足度

[授業]

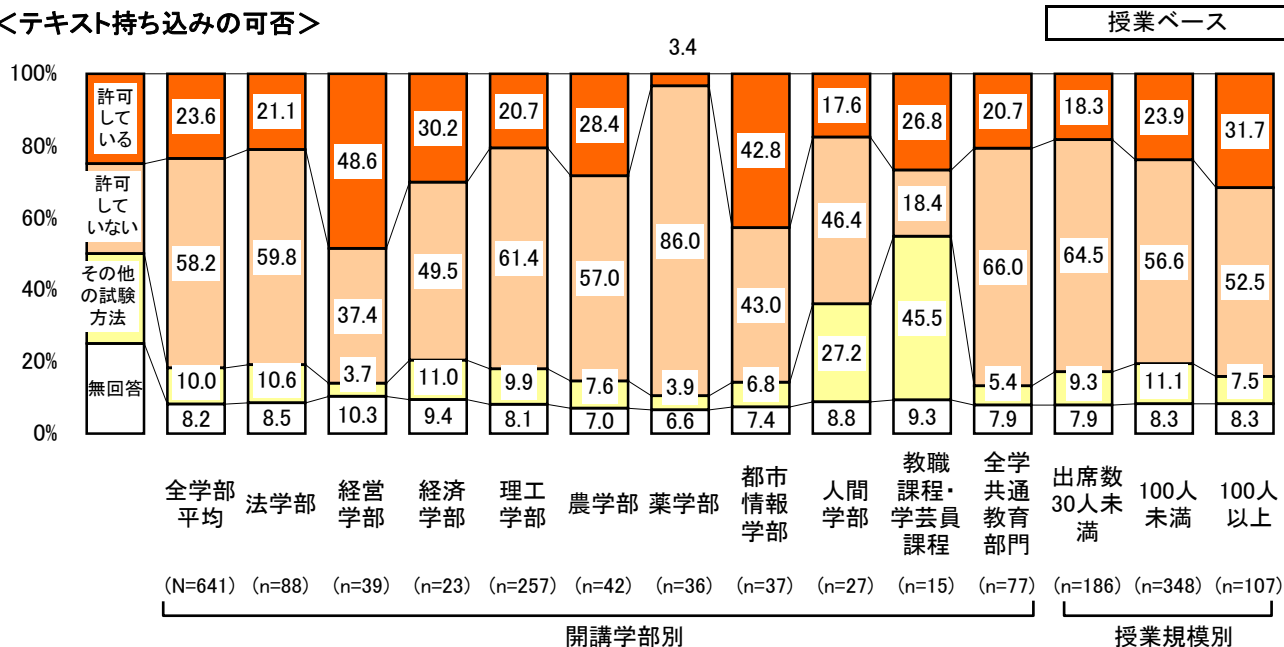
試験の実施方法とその満足度との関連について調べた。  
 テキストの持ち込みを認めている授業と、認めていない授業においては、授業満足度に差はみられない。

教員設問 Q17. この授業の試験においては、テキスト等の持ち込みを許可している。

学生質問 Q18. この授業における、試験の方法には満足している。

学生設問 Q17. この授業は満足のいくものである。

## <テキスト持ち込みの可否>

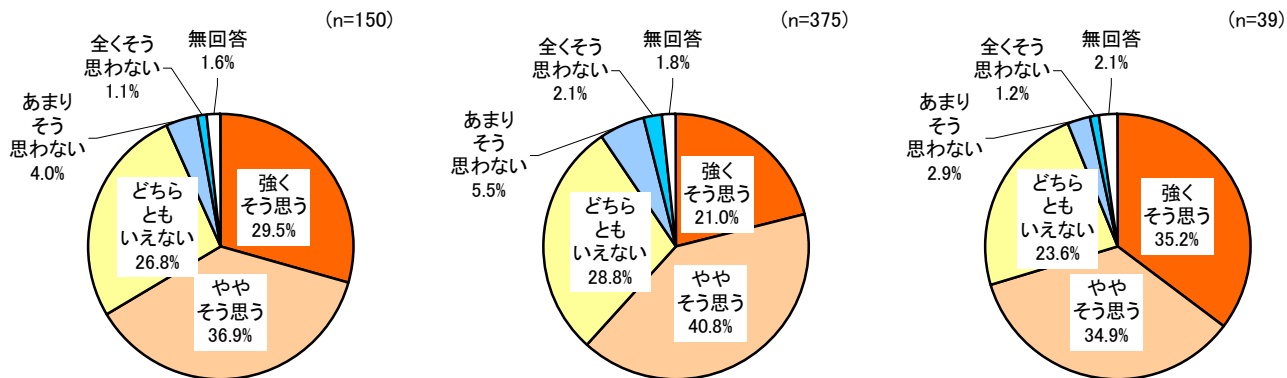


## <テキスト持ち込み可否別 学生の試験方法満足>

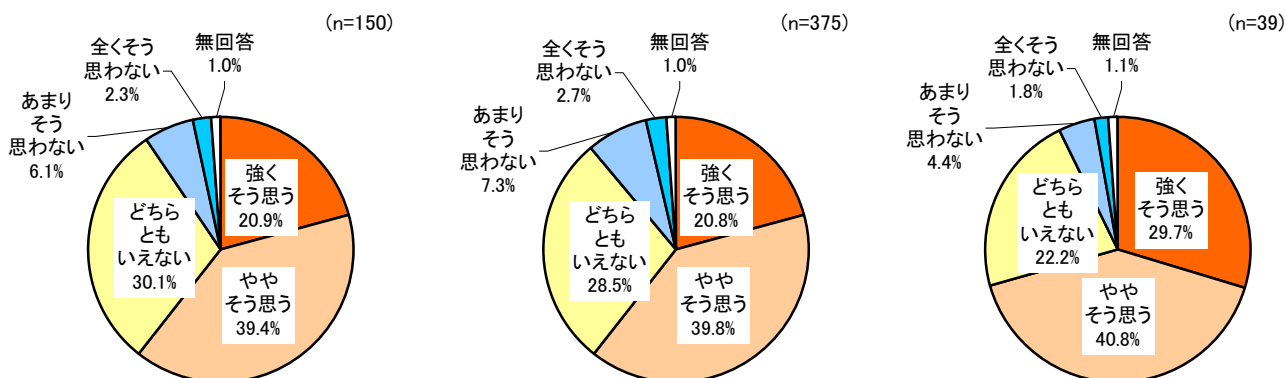
### 【テキスト持ち込み可授業】

### 【テキスト持ち込み不可授業】

### 【その他の試験方法】



## <テキスト持ち込み可否別 授業満足度>





# 14 授業に関する良い点（学生の自由回答）

[学生]

Q20. この授業で良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

○ ……具体的な回答をピックアップ。途中割愛の場合有り。

## 【教員の教え方に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 18,241人

順位	分類名	件数	%
①	教員の説明が分かりやすい、テストに出るポイントがわかりやすい	4,691	25.7%
②	授業が面白い	3,461	19.0%
③	板書の文字が読みやすい、板書が分かりやすい、パワーポイントが見やすい、パワーポイントが分かりやすい	2,728	15.0%
④	学生の反応を見てくれる、理解度を確認しながら進めてくれる	2,276	12.5%
⑤	資料が見やすい、資料が分かりやすい、テキスト・資料を活用している	2,231	12.2%
6	声が聞き取りやすい、話し方がよい	1,116	6.1%
7	課題が出る、テストがある	994	5.4%
8	教員の熱意・やる気・意欲を感じる、教員の人柄・態度がよい	987	5.4%
9	自ら学びたいと思える	316	1.7%
10	出席を取らない、テストが持込可である	263	1.4%
11	真面目に講義を受けている学生を評価してくれる	239	1.3%
12	考えさせられる、考える力がつく	235	1.3%
13	予習・復習しやすい	232	1.3%
14	成績評価基準を明確に示している	185	1.0%
15	出席を取る、厳しい	136	0.7%
16	印象・記憶に残る	108	0.6%
17	ネイティブの先生だから良い	99	0.5%
18	課題・テストの実施方法が良い	69	0.4%
19	充実感・満足感・達成感・感動がある	57	0.3%
20	シラバスに示された内容を満たしている	44	0.2%
21	課題がない、テストがない	38	0.2%
22	自由である	31	0.2%
23	メリハリがある	16	0.1%
24	その他	60	0.3%

### ◆主な意見

#### 【教員の教え方に関する意見】

##### <教員の説明が分かりやすい、テストに出るポイントがわかりやすい>

- ・授業のペース配分が良く、一つ一つの事例を挙げて説明されるので大変分かりやすくなっています。(法学部・法学科)
- ・表や図で書かれている部分が見やすく分かりやすかった。(経営学部・経営学科)
- ・各講義で大事な点(覚えておくべきことなど)が分かりやすくなっていると思います。(農学部・生物資源学科)
- ・小テストや定期テストを行う前にポイントをていねいに説明してくれる点。(理工学部・工学系)

##### <授業が面白い>

- ・学生たちが興味をもっている話題を取り入れて授業するところ。(理工学部・工学系)
- ・授業をすすめる中で、その背景にあった話や、豆知識などを教えてくれるのが、興味が持てて楽しいと感じた。(法学部・法学科)
- ・高校の世界史などとは違った切り口で、講義が進むので、興味がわいていいと思う。(理工学部・数学科)
- ・学生があきないように授業の半分くらいビデオを見るのが良かったです。あきないし、逆に興味を持つきっかけになりました。(全学共通教育部門)

##### <板書の文字が読みやすい、板書が分かりやすい、パワーポイントが見やすい、パワーポイントが分かりやすい>

- ・パワーポイントを使用し、効果的に画像や図が入っているので良かったと感じました。(農学部・生物資源学科)
- ・公式の途中式を詳しく書いてくれる。(薬学部・薬学科)
- ・パワーポイントでの授業は見やすく、色分けがしてあったり、ノート、教科書のページがのってて分かりやすい。(経営学部・経営学科)
- ・板書が見やすく、簡潔に書かれているので、あとでノートを見直した時に、ポイントをすぐに見つけることができるからいいと思った。(人間学部・人間学科)

##### <学生の反応を見てくれる、理解度を確認しながら進めてくれる>

- ・授業中に学生に質問することで、学生にその論点を考えさせることにより、学生の理解度を高めているところ。(法学部・法学科)
- ・毎回、アンケートを取り授業の始めにそのアンケートについて学生で話し合うという形式が双方向になっていて良かったと思います。(経済学部・経済学科)
- ・学生の理解度を確認しながら授業が進められている。テスト直しの解説がわかりやすい。(理工学部・交通機械工学科)
- ・講師2人での授業体制なので、すぐに質問できること。(全学共通教育部門)

# 14 授業に関する良い点（学生の自由回答）

[学生]

Q20. この授業で良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

○ …具体的な回答をピックアップ。途中割愛の場合有り。

## 【カリキュラムの内容に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 18,241人

順位	分類名	件数	%
①	新しい知識・専門的な知識が得られる、扱っている内容が実社会で役に立つ、将来役に立つ	2,453	13.4%
②	演習問題・課題に取り組む	499	2.7%
③	基礎が学べる	99	0.5%
4	他の授業との連携がある	62	0.3%
5	高校の復習になる	12	0.1%
6	その他	4	0.0%

## 【授業を受ける環境に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 18,241人

順位	分類名	件数	%
①	私語が少ない、集中できる環境である	1,297	7.1%
②	雰囲気が良い	99	0.5%
3	授業を受ける環境が良い(寒くない・暑くない・照明が明るい)、教室の設備が良い	51	0.3%
4	休憩をはさんでくれる	38	0.2%
5	少人数制である	30	0.2%
6	席が指定されていない	15	0.1%
7	その他	22	0.1%

### ◆主な意見

#### 【教員の教え方に関する意見】

＜資料が見やすい、資料が分かりやすい、テキスト・資料を活用している＞

- ・教科書に沿っているので理解するための勉強方法がわかるようです。(法学部・法学科)
- ・講義資料サーバによって、学生一人一人に資料を配布し、学習させている点。(理工学部・電気電子工学科)
- ・プリントの数や範囲は多いけど重要なポイントは明確になっているし、詳しく解説してくれるので良かった。(薬学部・薬学科)
- ・プリントの重要な部分を穴ぬきにしてあり、自主的にポイントをおさえるというのは良かった。(都市情報学部・都市情報学科)

#### 【カリキュラムの内容に関する意見】

＜新しい知識・専門的な知識が得られる、扱っている内容が実社会で役に立つ、将来役に立つ＞

- ・最近の新聞記事を取り上げていて情報が分かりやすい点。(経済学部・経済学科)
- ・将来や、今に役立つ事を教えてくれるのでとても興味深い。(都市情報学部・都市情報学科)
- ・この講義を聞いていると普段の生活や講義では思いついたり気が付かないようなことを気づかせてくれたりしたので、自分の視野が広がる感じがした。(教職課程・学芸員課程)
- ・理論に基づいて、実技を習う授業で、機械系にとって、とても役に立つと思う。(理工学部・機械システム工学科)

＜演習問題・課題に取り組む＞

- ・授業の中で問題をとく機会がいくつかあるので理解しながら授業をうけることができたのでよかったと思う。(経済学部・経済学科)
- ・毎回授業の終わりに確認のコメントシートがあり、自分の理解度がわかる。(人間学部・人間学科)

＜基礎が学べる＞

- ・基礎がしっかりできるように工夫されていた。(農学部・応用生物化学科)
- ・基礎の基礎から教えていただけなので、理解が深まる。(理工学部・交通機械工学科)

#### 【授業を受ける環境に関する意見】

＜私語が少ない、集中できる環境である＞

- ・授業に緊張感があるところがいいと思います。(農学部・生物環境科学科)
- ・座席が決まっているため、席取りの必要がなく、私語が少ない。(薬学部・薬学科)
- ・徹底した講義の環境づくりによって、良い環境で講義が望めた。(都市情報学部・都市情報学科)
- ・受講態度の悪い学生に対して、注意が徹底しており、気持ちよく授業を受けられる。(教職課程・学芸員課程)

＜雰囲気が良い＞

- ・比較的勤勉な学生が多く受講していたので気持ちよく授業に取り組みました。(都市情報学部・都市情報学科)
- ・明るい雰囲気で授業を進めてもらえるので、とても受けやすいです。(法学部・応用実務法学科)

# 15 授業に関する改善点（学生の自由回答）

[学生]

Q21. この授業で改善したほうが良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

○ …具体的な回答をピックアップ。途中割愛の場合有り。

## 【教員の教え方に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 10,578人

順位	分類名	件数	%
①	板書の文字が読みにくい、板書が分かりにくい、パワーポイントが見にくい、パワーポイントが分かりにくい	3,421	32.3%
②	教員の説明が分かりにくい、テストに出るポイントがわかりにくい	1,790	16.9%
③	資料が見にくい、資料が分かりにくい、テキスト・資料を活用していない	1,087	10.3%
④	声が聞き取りにくい、話し方が悪い	932	8.8%
⑤	学生の反応を見てくれない、理解度を確認しながら進めてくれない	884	8.4%
6	授業がつまらない	410	3.9%
7	教員の熱意・やる気・意欲が感じられない、教員の人柄・態度が良くない	409	3.9%
8	課題・テストの実施方法に問題がある	235	2.2%
9	成績評価基準が明確ではない	182	1.7%
10	出席を取る、厳しい、テストが持込不可である	152	1.4%
11	課題が出る(課題が多い)、テストがある(テストが多い)	149	1.4%
12	出欠の取り方に問題がある	112	1.1%
13	出席を取らない、出席に対して甘い	80	0.8%
14	課題が出ない、テストがない	77	0.7%
15	真面目に講義を受けている学生を評価してくれない	75	0.7%
16	ネイティブの先生なので、日本語での説明が分かりにくい	69	0.7%
17	テキストが高い、テキストが多い	49	0.5%
18	生徒の当て方に問題がある	36	0.3%
19	休講・補講が多い、休講を早めに教えて欲しい	29	0.3%
19	先生の準備不足	29	0.3%
21	予習・復習しづらい	18	0.2%
22	シラバスに示された内容を満たしていない	14	0.1%
23	その他	115	1.1%

### ◆主な意見

#### 【教員の教え方に関する意見】

##### <板書の文字が読みにくい、板書が分かりにくい、パワーポイントが見にくい、パワーポイントが分かりにくい>

- ・板書にとりどころ重ね書きがあったり、漢字の略した字が読みづらいです。(法学部・法学科)
- ・スライドにたくさんの文章が載っており、その文章を書くうちに、先生のお話が聞きとれないことが多いです。(経営学部・経営学科)
- ・板書が多い割には消すのがはやいと思います。(経済学部・産業社会学科)
- ・文字は読みやすかったのですが、もう少しチョークの色など工夫して書いてほしかったです。(理工学部・工学系)

##### <教員の説明が分かりにくい、テストに出るポイントがわかりにくい>

- ・テストにおける重要な部分を、もう少し詳しく教えて頂けると嬉しいと思いました。(農学部・生物資源学科)
- ・教科書の内容を話しているのか、プリントの内容を話しているのかが少し分かりにくいと思いました。(薬学部・薬学科)
- ・何が大事なかわかりにくい。内容がとっつきにくいのでわかりやすい例をあげて説明してほしい。(人間学部・人間学科)
- ・進むスピードが早い時と遅い時があるので均等の方が良いと思う。(法学部・応用実務法学科)

##### <資料が見にくい、資料が分かりにくい、テキスト・資料を活用していない>

- ・プリントを穴あけ式にした方がみんなまじめに授業を聞くと感じ、大事なところがわかりやすいと思います。(経営学部・経営学科)
- ・資料の文字が薄くて、見づらい部分が多くあるので、もっと、はっきり印刷される色にしてほしい。または、ファイルサーバーやウェブクラスを利用して、資料を見ることのできるようにしてほしい。(薬学部・薬学科)
- ・プリントにメモ欄のようなものを付けて、講義内容を記入できるようにすると、より学生が学習しやすくなると思います。(教職課程・学芸員課程)
- ・教科書をもっと使用して欲しい。(全学共通教育部門)

##### <声が聞き取りにくい、話し方が悪い>

- ・たまに声が通らない時があったので、マイクを使った方が良かった。(経済学部・産業社会学科)
- ・声が小さくて、話すスピードが遅いので、聞き取りにくいし、内容が頭に入らない。(理工学部・情報工学科)
- ・もう少し大きな声で、はっきりと話してほしい。語尾とか、聞こえていない事が多々ありました。(農学部・生物環境科学科)
- ・話し方が単調で、眠くなる。(人間学部・人間学科)

# 15 授業に関する改善点（学生の自由回答）

[学生]

Q21. この授業で改善したほうが良いと思った点について、何でも結構ですからお聞かせください。

○ ……具体的な回答をピックアップ。途中割愛の場合有り。

## 【カリキュラムの内容に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 10,578人

順位	分類名	件数	%
①	演習問題・課題に取り組まない	163	1.5%
②	新しい知識・専門的な知識が得られない、扱っている内容が実社会で役立たない、将来役立たない	100	0.9%
③	基礎が学べない	40	0.4%
4	他の授業との連携がない	21	0.2%
5	その他	13	0.1%

## 【授業を受ける環境に関する意見】

自由回答に記載のあった学生数 10,578人

順位	分類名	件数	%
①	私語が多い、集中できない環境である	979	9.3%
②	授業を受ける環境が良くない(寒い・暑い、照明が暗い)、教室の設備が良くない	451	4.3%
3	学生に熱意・やる気・意欲(学ぶ姿勢)がない	58	0.5%
3	時間割が良くない	58	0.5%
5	席が指定されている	57	0.5%
6	受講生が多すぎる	25	0.2%
6	学力に合っていない(学力別授業ではない)	25	0.2%
8	休憩をはさんでくれない、トイレに行かせてくれない	10	0.1%
9	その他	22	0.2%

### ◆主な意見

#### 【教員の教え方に関する意見】

＜学生の反応を見てくれない、理解度を確認しながら進めてくれない＞

- ・もう少しゆっくり分かりやすく進めた方が、学生にも分かりやすく、良くなると思う。(法学部・法学科)
- ・毎回、前回の復習の時間をとり入れてほしい。(薬学部・薬学科)
- ・最後にやる小テストが返却されないので、答え合わせややり直しができない。(都市情報学部・都市情報学科)
- ・もう少し、学生をあてたりして、学生を授業に参加させながら授業を進めた方がいいと思いました。(理工学部・数学科)

#### 【カリキュラムの内容に関する意見】

＜演習問題・課題に取り組まない＞

- ・論理的な説明よりも、実践的に演習問題をどんどん解いていった方がいいと思う。(経営学部・経営学科)
- ・公式を使った例題をもう少し授業内で行ったら、より理解が深まるのではと思いました。(農学部・応用生物化学科)

＜新しい知識・専門的な知識が得られない、扱っている内容が実社会で役立たない、将来役立たない＞

- ・実際に役に立つのかがよくわからなかった。(理工学部・情報工学科)
- ・資格の話などについて聞きたいと思っていたので、その情報も授業の際に言ってもらいたかったです。(法学部・法学科)
- ・教科書の内容以外にも、新聞やニュースなどの出来事をもっと取り入れると、よりよいと思いました。(経済学部・産業社会学科)
- ・基本的な話が多いからもう少し専門的な内容にして欲しかった。実験の方法論とかやってほしかった。(都市情報学部・都市情報学科)

＜基礎が学べない＞

- ・応用的なことが多く、基礎の部分にまったく触れないので、ポイントをまとめて苦手な人にもわかるように、少し考慮してほしい。(理工学部・工学系)
- ・前期だけでもいいから基礎からやってほしかった。前期に基礎をやって、後期に応用+前期の基礎の復習みたいな感じで…。(全学共通教育部門)

#### 【授業を受ける環境に関する意見】

＜私語が多い、集中できない環境である＞

- ・指定席にするか、しゃべっている人にペナルティを課すべき。(都市情報学部・都市情報学科)
- ・途中退室をする人に対し、何らかの処置をしないと、いつまでも同じことの繰り返しだと思う。(人間学部・人間学科)

＜授業を受ける環境が良くない(寒い・暑い、照明が暗い)、教室の設備が良くない＞

- ・人数にあわせた教室にしてほしかった(せまい)。(教職課程・学芸員課程)
- ・黒板が反射して文字が見えないときや、スクリーンが邪魔で見えない時がある。(全学共通教育部門)